

目で見る下野市

下野市統計グラフ

2016.9



あぶみ瓦



しもつけ井



かんぴょう入り
五色餃子



干瓢の八幡巻



グリムの森
イルミネーション



麦焼酎
下野



下野乃国
五千石



かんぴょうがんも



手作りのかんぴょう菓子
ふうくべえ



SHIMOTSUKE
BRAND

下野ブランド



国指定史跡下野薬師寺跡



石橋江戸神輿



風車クッキー



ちぢみほうれんそう



道の駅しもつけ



スーパーカムラー



かんぴょうの
きんぴらまん



ドライトチオトメ



かんぴょうパウンドケーキ



下野の B ナス



かんぴょう



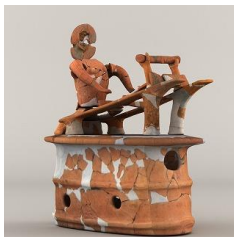
自然・景観



史跡・遺跡



本場結城紬及び
下野市本場結城紬振興協議会



機織形埴輪



天平の芋煮会



小金井一里塚



天平の花まつり

目 次

I 自然条件

(1) 概要	3
(2) 位置	4
(3) 面積	5
(4) 地価動向	6

II 人口

(1) 人口	8
(2) 人口構成	9
(3) 世帯数	10
(4) 1世帯あたりの人数	11
(5) 人口密度	12
(6) D I D	13

III 産 業

1 産業	
(1) 産業別就業者数	14
(2) 産業（大分類）別事業所数	15
(3) 産業（大分類）別従業者数	16
2 商業	
(1) 商店数	17
(2) 従業者数	18
(3) 年間商品販売額	19
3 工業	
(1) 事業所数	20
(2) 従業者数	21
(3) 製造品出荷額	22
4 農業	
(1) 農家数	23
(2) 経営耕地面積	24
(3) 販売目的で作付けした作物	25
(4) 家畜飼養頭羽数	27
(5) 水稻収穫量	28
5 林業	
(1) 林野面積	29
(2) 平成26年特用林産物生産量	30

IV 医療・社会福祉

1 医療	
(1) 一般病院の病床数	31
(2) 一般病院の医師数	32
(3) 死因別死亡者数	33
2 国民健康保険	34
3 介護保険	
(1) 被保険者数	35
(2) 要介護者数	36
(3) サービス施設利用者数	38
4 生活保護	
(1) 生活保護世帯数	39
(2) 生活保護人数	40
(3) 生活保護率	41

V 上下水道

1 上水道	
(1) 水道普及率	42
2 下水道	
(1) 公共下水道利用者数	43
(2) 農業集落排水施設利用者数	44
(3) 下水道普及率	45

VI 建 設

(1) 道路改良率	46
(2) 道路舗装率	47

VII 衛生・環境

(1) ごみ総排出量	48
(2) 一般ごみの排出量	49
(3) 資源ごみの排出量	50
(4) し尿収集量	51

VIII 幼稚園・認定こども園・保育園

(1) 幼稚園・認定こども園	52
(2) 保育園	53

IX 教 育

- (1) 小学校 54
- (2) 中学校 55
- (3) 高等学校 56
- (4) 大学・大学院 57

X 安全安心

- (1) 火災 58
- (2) 交通事故件数 59
- (3) 交通事故死傷者数 60
- (4) 刑法犯認知件数 61

XI 財 政

平成26年度一般会計決算 62

XII 行 政

- (1) 組織機構図 64
- (2) 選挙 65



市の木「けやき」



市の鳥「うぐいす」



市の花「ゆうがお」

【表紙の説明】

下野市では、下野ブランドを認定し、市内外の各種イベントへの参加や道の駅・観光協会等でのPR・販売など積極的に取り組んでいます。

(平成28年6月現在)

「一次産品、加工品、工芸品」15品

「市内産業の製品・技術」2件

「文化財等地域資源」11件

I 自然条件

(1) 概要

下野市は、平成18年1月10日、河内郡南河内町、下都賀郡石橋町と同国分寺町が合併して誕生しました。

栃木県の中南部に位置し、都心から約85km圏にあり、首都圏の一端を構成しています。南北約15.2km、東西約11.5kmで、北は県都宇都宮市、南は小山市、東は真岡市と上三川町、西は栃木市と壬生町に接し、面積は74.59km²です。

東に鬼怒川と田川、西に思川と姿川が流れる高低差のない、古来より開けた平坦で安定した自然災害も少ない地域で、JR宇都宮線の自治医大駅を中心にニュータウンによる新市街地が広がり、日光街道沿いの小金井や石橋の旧宿場町とその周辺の田園地帯とともに下野市を形成しています。

天武天皇の白鳳時代には下野薬師寺が建立され、日本三戒壇の一つが設置されました。8世紀には聖武天皇の詔により下野国分寺・国分尼寺が建立され、古代東国における仏教文化の中心地として栄えた歴史があり、下野市の名称の由来となっています。

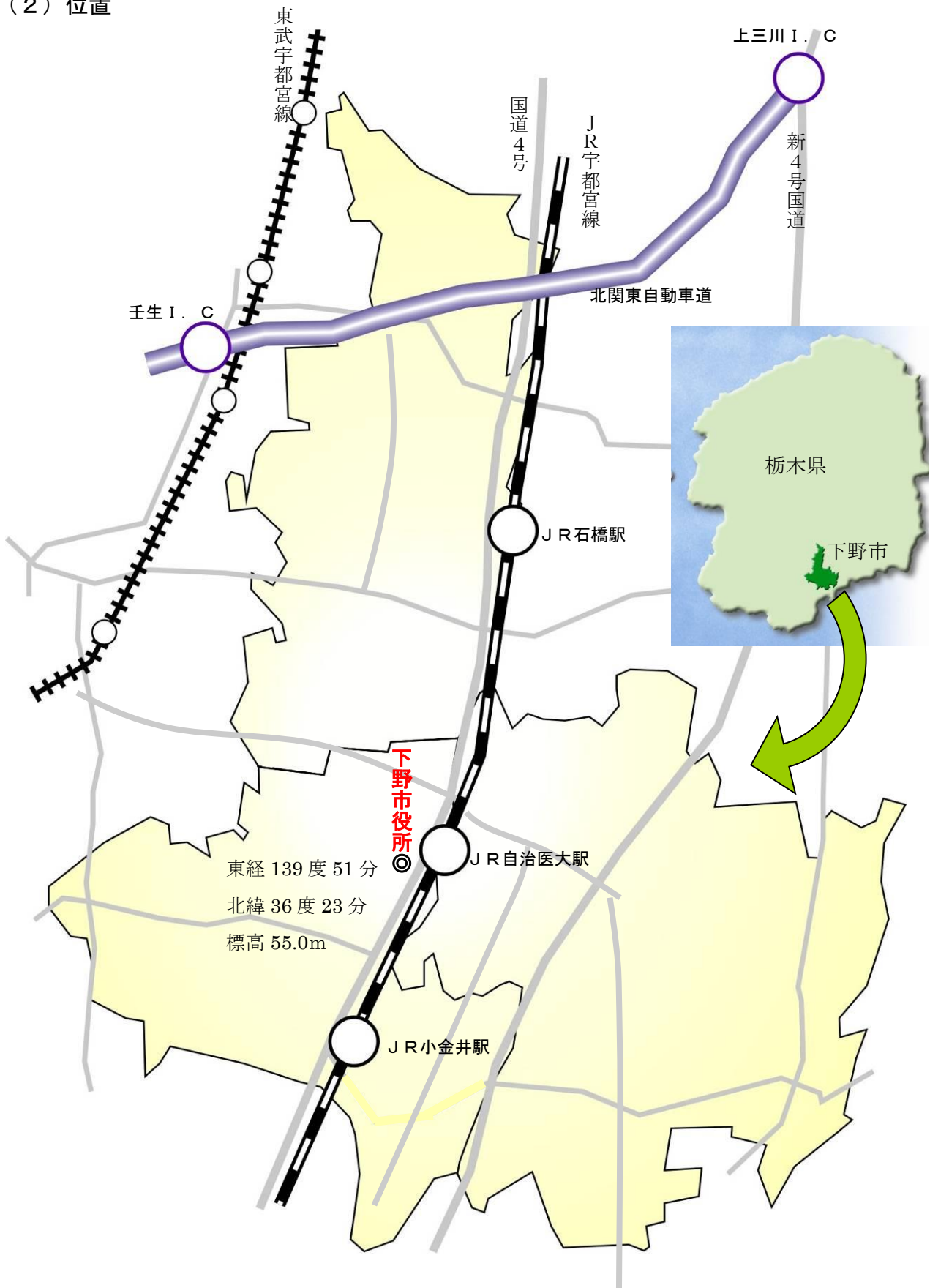


下野国分寺及び
国分尼寺復元図



下野薬師寺復元回廊

(2) 位置



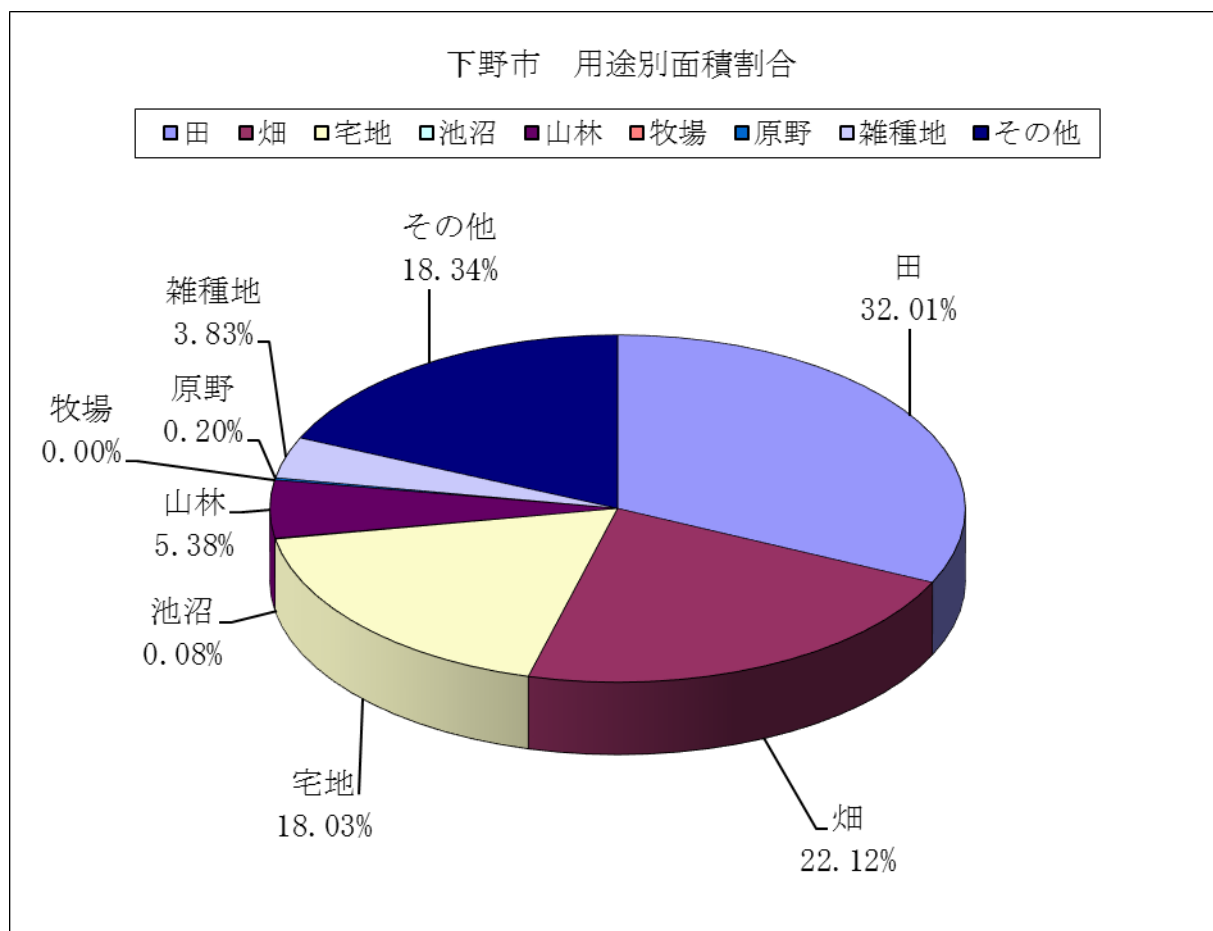
(3) 面積

用途別面積

単位：km²

	面積	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
下野市	74.58	23.87	16.50	13.45	0.06	4.01	0.00	0.15	2.86	13.68

資料：栃木県統計年鑑（平成26年1月1日現在）



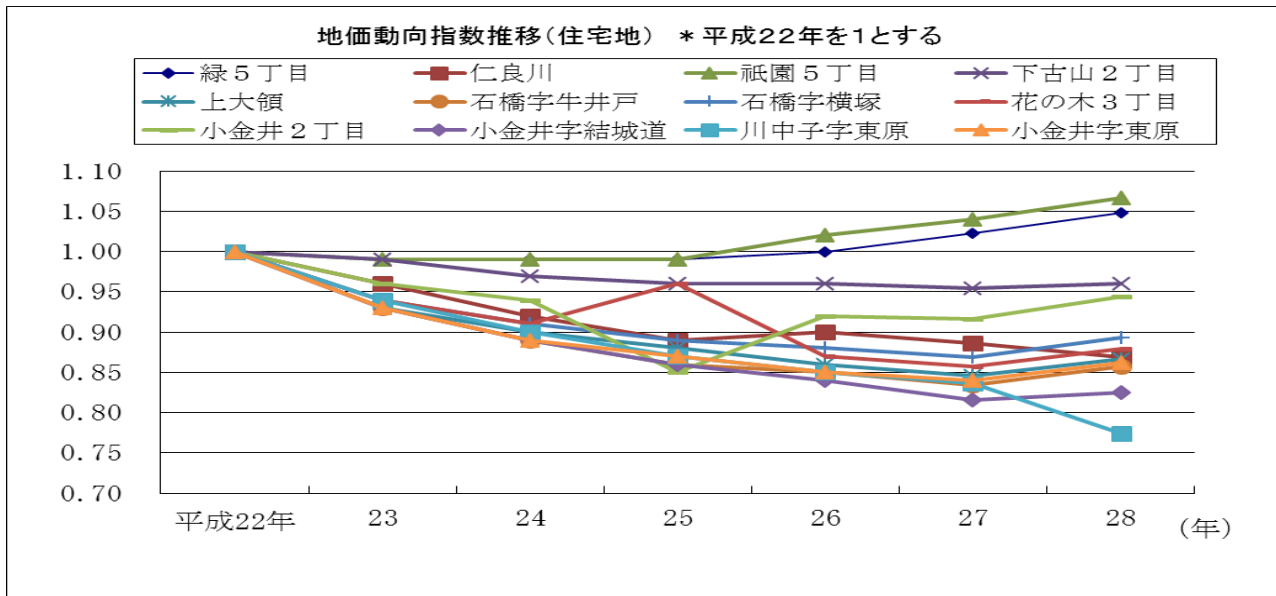
(4) 地価動向

平成28年の住宅地（基準地）の地価の推移動向をみると、緑5丁目、祇園5丁目の上昇傾向が見られたが、それ以外の基準値では下落傾向にある。川中子字東原については平成22年比0.78以下である。

住宅地の地価

単位：円/m²

	平成22年	23	24	25	26	27	28
緑5丁目	71,100	70,800	70,600	70,600	71,500	72,900	74,500
仁良川	45,100	43,800	42,000	40,600	41,300	40,600	39,200
祇園5丁目	79,700	79,300	79,200	79,200	81,000	83,000	85,000
下古山2丁目	52,200	51,800	50,900	50,300	50,200	50,100	50,100
上大領	41,400	40,000	38,500	37,500	36,800	36,200	35,900
石橋字牛井戸	44,800	43,100	41,400	39,900	39,300	38,800	38,400
石橋字横塚	53,200	51,800	50,000	49,000	48,400	47,800	47,500
花の木3丁目	45,600	44,200	42,600	45,300	40,700	40,300	40,100
小金井2丁目	47,800	47,100	46,100	41,500	45,100	45,000	45,100
小金井字結城道	50,200	48,400	46,400	44,900	43,600	42,400	41,400
川中子字東原	43,900	42,400	40,800	39,400	38,500	37,900	34,000
小金井字東原	42,800	41,100	39,500	38,400	37,700	37,200	36,900



解説

資料：地価公示

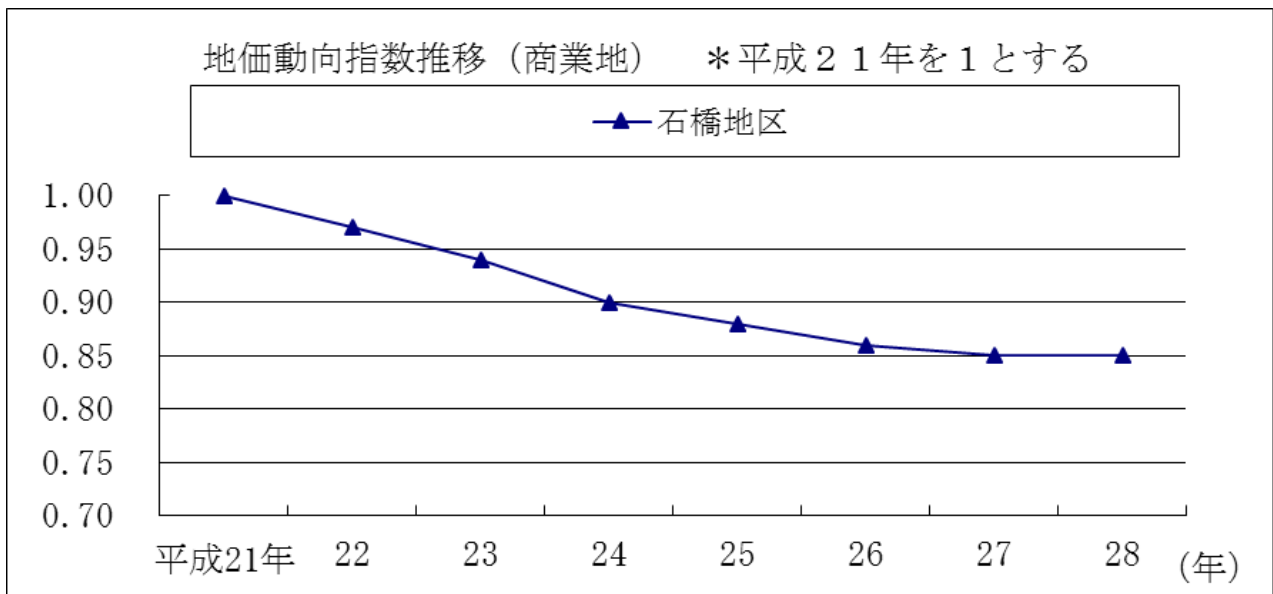
地価公示は、地価公示法第2条第1項の規定に基づき、国土交通省土地鑑定委員会が毎年1月1日における全国の標準地の正常な価格を調査、公示するものです。地価公示制度は、一般の土地の取引価格の指標、不動産鑑定士等の鑑定評価の規準、公共事業用地の取得価格算定の規準とされ、また、相続税評価、固定資産税評価の目安、国土利用計画法に基づく土地取引の届出制における価格算定の規準等となるものです。

商業地は南河内地区に基準地が設定されていないため、石橋地区、国分寺地区の2地区の動向となっていたが、平成21年には国分寺地区の基準地（小金井字下原）の設定がなくなり、石橋地区（石橋字宿並東側）のみとなった。商業地の地価動向は、平成21年から下落傾向を示している。

商業地の地価

単位：円/m²

	平成21年	22	23	24	25	26	27	28
石橋地区	65,900	63,900	62,000	59,500	57,700	56,900	56,300	55,800



資料：地価公示

解説

- 住宅地** 都市計画区域内の第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域において、居住用の建物の敷地の用に供されている土地並びに都市計画法第8条第1項第1号に定める用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、居住用の建物の敷地の用に供されている土地。
- 商業地** 都市計画区域内の近隣商業地域、商業地域及び準住居地域において、商業用の建物の敷地の用に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、商業用の建物の敷地の用に供されている土地。

Ⅱ 人口

(1) 人口

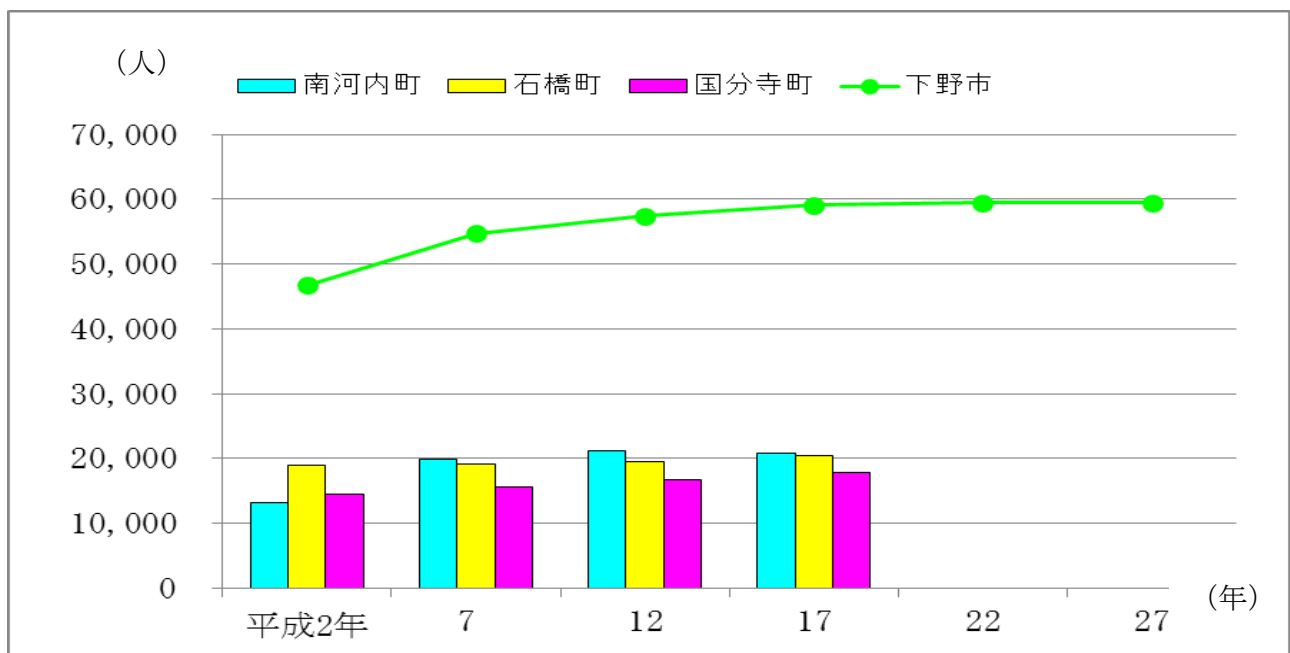
下野市の国勢調査人口推移をみると、平成2年(46,673人)から平成27年(59,444人)までに12,771人増加している。

栃木県毎月推計人口調査をみると、近年はほぼ横ばいで推移している。

人口推移

単位：人

	平成2年	7	12	17	22	27
南河内町	13,244	19,844	21,235	20,873	—	—
石橋町	19,039	19,174	19,498	20,494	—	—
国分寺町	14,410	15,691	16,714	17,765	—	—
下野市	46,673	54,709	57,447	59,132	59,483	59,444 (速報値)



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査(各年10月1日現在)

参考

人口

単位：人

	平成21年	22	23	24	25	26	27
下野市	59,392	59,483	59,445	59,653	59,661	59,657	59,624

資料：栃木県毎月推計人口調査(各年10月1日現在)

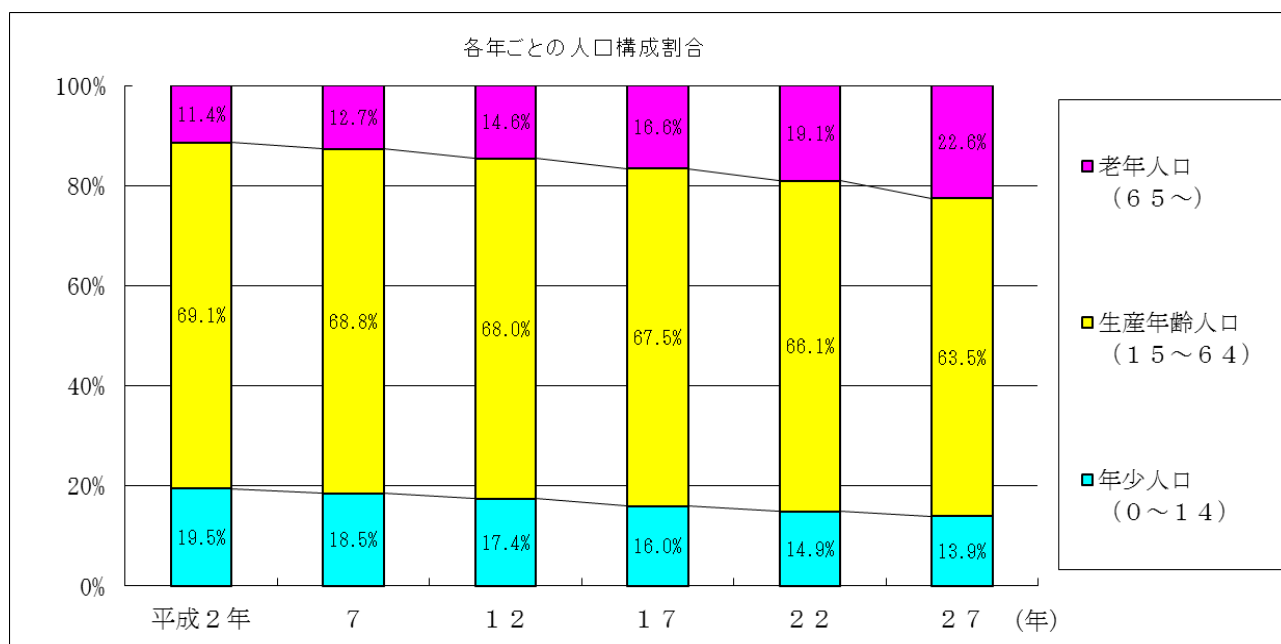
(2) 人口構成

下野市の人口構成の推移をみると、平成2年から平成27年までに年少人口は819人減少、生産年齢人口は5,475人増加、65才以上の老年人口は8,120人増加している。

人口構成

単位：人

	平成2年	7	12	17	22	27
年少人口 (0～14)	9,089	10,119	9,993	9,426	8,825	8,270 (速報値)
生産年齢人口 (15～64)	32,262	37,654	39,057	39,869	39,174	37,737 (速報値)
老年人口 (65～)	5,313	6,934	8,376	9,790	11,300	13,433 (速報値)



※3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

解説

国勢調査・・・我が国に常住するすべての人を対象として、5年ごと（10月1日現在）に行われる調査で、男女の別、出生の年月、配偶関係、国籍、労働力状態、従業上の地位、産業、職業、世帯の種類、住宅、従業地・通学地などについての調査です。

推計人口・・・国勢調査の結果による人口及び世帯数を基礎として、これに住民基本台帳法及び外国人登録法による毎月の出生、死亡、転入、転出者数を加減して、毎月1日現在で推計しています。

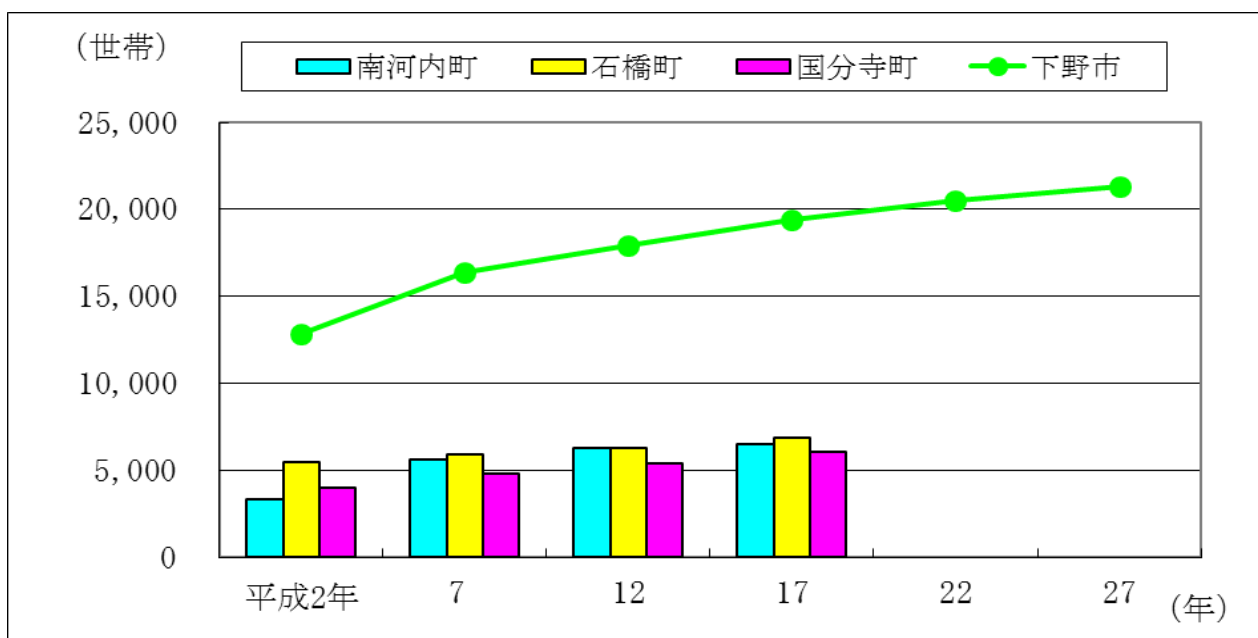
(3) 世帯数

下野市の世帯数の推移をみると、平成2年（12,814世帯）から平成27年（21,349世帯）までに8,535世帯増加している。

世帯数の推移

単位：世帯

	平成2年	7	12	17	22	27
南河内町	3,364	5,629	6,261	6,481	—	—
石橋町	5,466	5,894	6,257	6,854	—	—
国分寺町	3,984	4,832	5,383	6,043	—	—
下野市	12,814	16,355	17,901	19,378	20,501	21,349 (速報値)



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

参考

世帯数

単位：世帯

	平成21年	22	23	24	25	26	27
下野市	20,250	20,501	20,774	21,140	21,408	21,625	21,871

資料：栃木県毎月推計人口調査（各年10月1日現在）

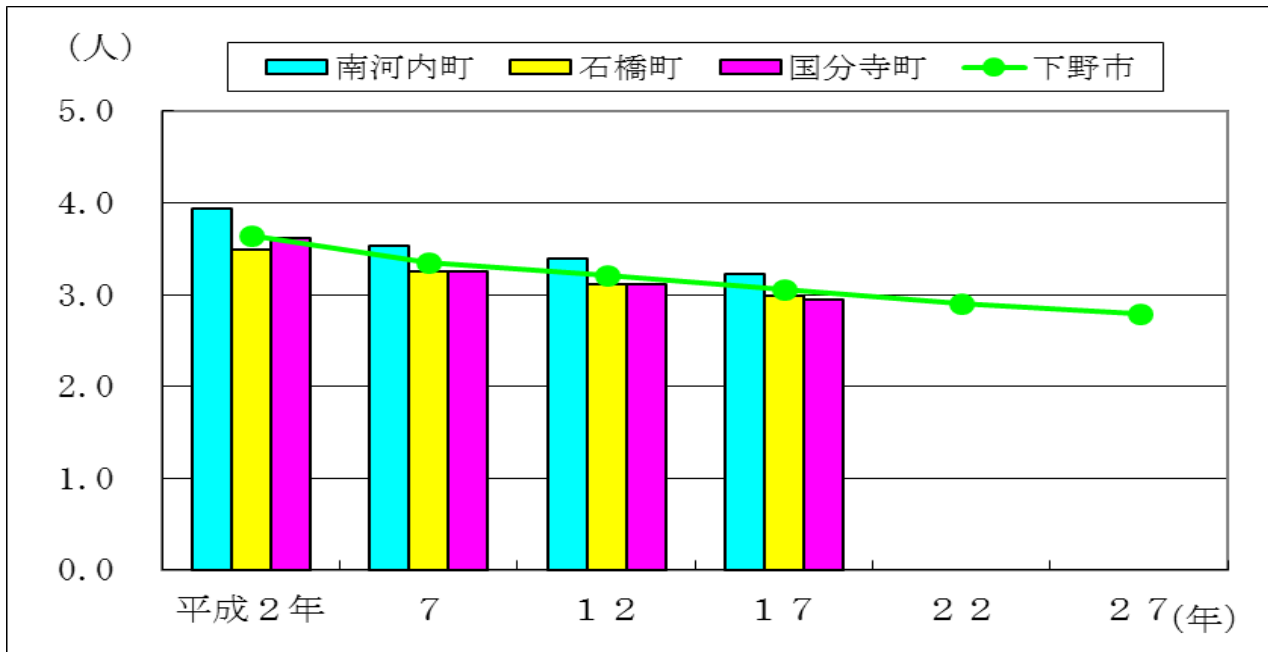
(4) 1世帯あたりの人数

下野市の1世帯あたりの人数の推移をみると、平成2年(3.6人)から平成27年(2.8人)までに0.8人減少している。

1世帯あたりの人数

単位：人／世帯

	平成2年	7	12	17	22	27
南河内町	3.9	3.5	3.4	3.2	—	—
石橋町	3.5	3.3	3.1	3.0	—	—
国分寺町	3.6	3.2	3.1	2.9	—	—
下野市	3.6	3.3	3.2	3.1	2.9	2.8



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

参 考

平成27年国勢調査1世帯あたりの人数

単位：人／世帯

宇都宮市	2.39	鹿沼市	2.81	大田原市	2.63	那須烏山市	2.85
足利市	2.49	日光市	2.56	矢板市	2.72		
栃木市	2.76	小山市	2.54	那須塩原市	2.57		
佐野市	2.57	真岡市	2.85	さくら市	2.87		

平成27年10月1日現在

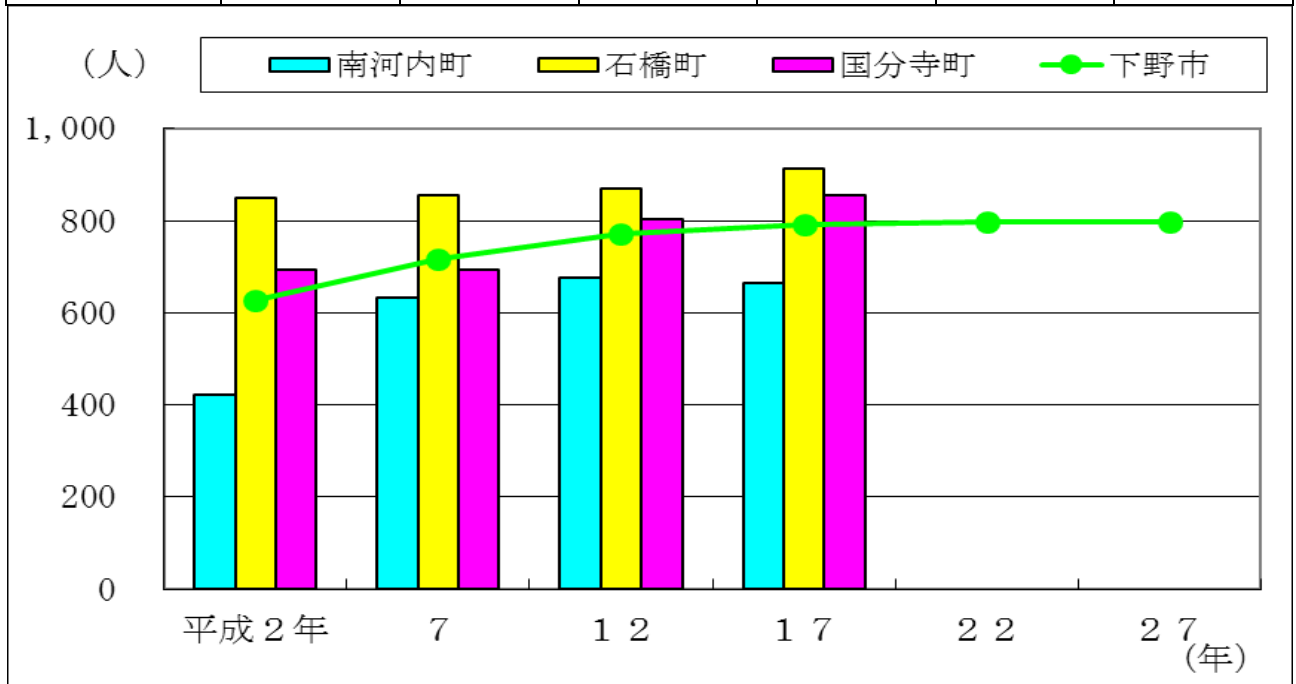
(5) 人口密度

下野市の人口密度の推移をみると、平成2年（625.8人/㎢）から平成27年（796.9人/㎢）までに171.1人/㎢増加している。

人口密度

単位：人/㎢

	平成2年	7	12	17	22	27
南河内町	421.8	633.0	677.4	665.8	—	—
石橋町	848.8	854.8	869.3	913.7	—	—
国分寺町	692.8	692.8	803.6	854.1	—	—
下野市	625.8	716.4	770.3	792.9	797.6	796.9



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

参考

平成27年国勢調査 都市別人口密度

単位：人/㎢

宇都宮市	1244.5	鹿沼市	200.5	大田原市	213.0	那須烏山市	154.9
足利市	841.0	日光市	57.6	矢板市	195.7		
栃木市	840.4	小山市	971.1	那須塩原市	197.5		
佐野市	334.0	真岡市	475.6	さくら市	357.5		

平成27年10月1日現在

(6) DID (人口集中地区)

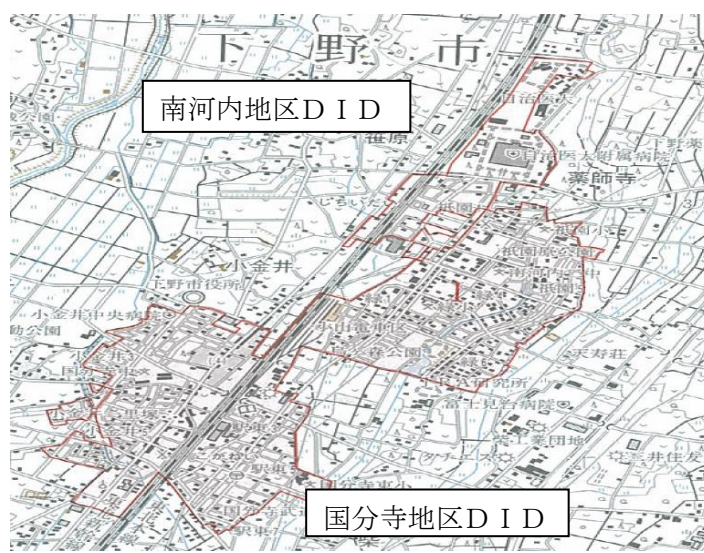
DID

単位 面積：km²、人口密度：人/km²

	人口	面積	人口密度
南河内地区 国分寺地区	22,383	4.05	5,526.7
石橋地区	10,301	2.05	5,024.9
下野市	32,684	6.10	5,358.0

※ 3地区の合計を下野市として作成

※ 現行のDIDは、平成22年国勢調査にて設定されたものです。



解説

DID (Densely Inhabited District : 人口集中地区) とは

1. 市区町村の境界内において人口密度の高い（約 4,000 人/km²以上の）国勢調査区を基礎単位として用い、
2. これらが隣接して5,000人以上を有していること。

上の1と2をどちらも満たしている市街地がDIDとなります。

このDIDの人口と面積は、国勢調査で得られた結果を用いて算出しています。

Ⅲ 産 業

1 産業

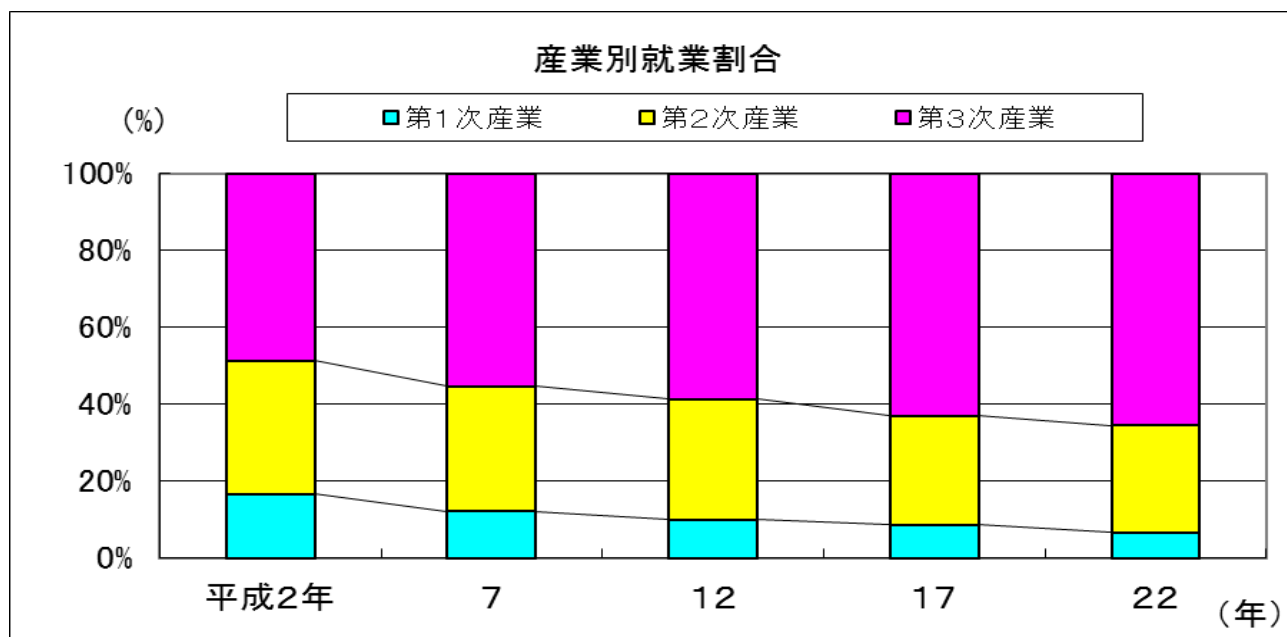
(1) 産業別就業者数

下野市の産業別就業者数の推移をみると、平成2年から平成22年までに、第1次産業は2,248人減少、第2次産業は782人減少、第3次産業は6,399人増加している。

産業別就業者数の推移

単位：人

	平成2年	7	12	17	22
第1次産業	4,129	3,517	2,971	2,553	1,881
第2次産業	8,585	9,376	9,302	8,340	7,803
第3次産業	11,991	15,947	17,387	18,526	18,390



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

解 説

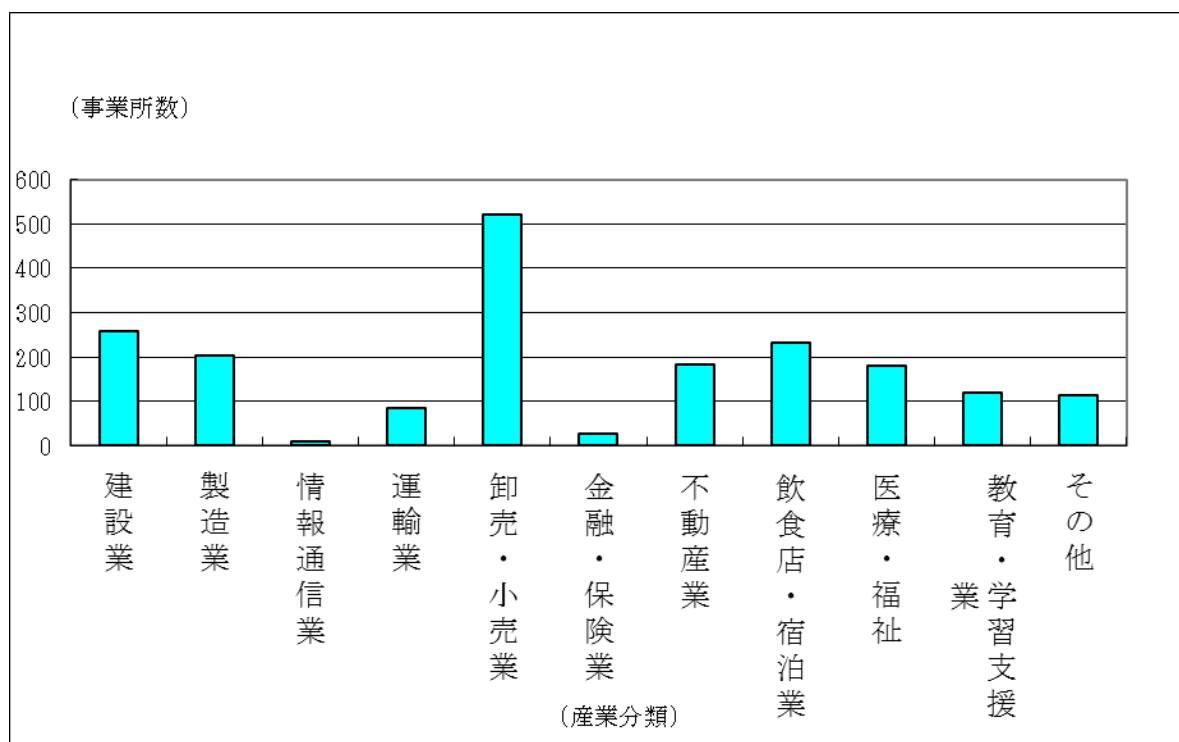
本標準産業分類は、統計調査の結果を産業別に表示する場合の統計基準として、事業所において社会的な分業として行われる財貨及びサービスの生産又は提供に係るすべての経済活動を分類したもので、統計の正確性と客観性を保持し、統計の相互比較性と利用の向上を図ることを目的として、昭和24年10月に制定されています。その具体的な内容は、事業所において行われる農業、建設業、製造業、卸売業、小売業、金融業、医療、福祉、教育、公務などすべての経済活動を、大分類、中分類、小分類及び細分類の4段階に分類したものです。

(2) 産業（大分類）別事業所数

平成26年の下野市の産業（大分類）別事業所数を見ると、卸売・小売業（520）が最も多く、2番目に建設業（257）、3番目に飲食店・宿泊業（232）となっている。

産業（大分類）別事業所数

	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	その他
下野市	257	203	9	86	520	27	182	232	179	119	113



資料：平成26年経済センサス基礎調査
(平成26年7月1日現在)

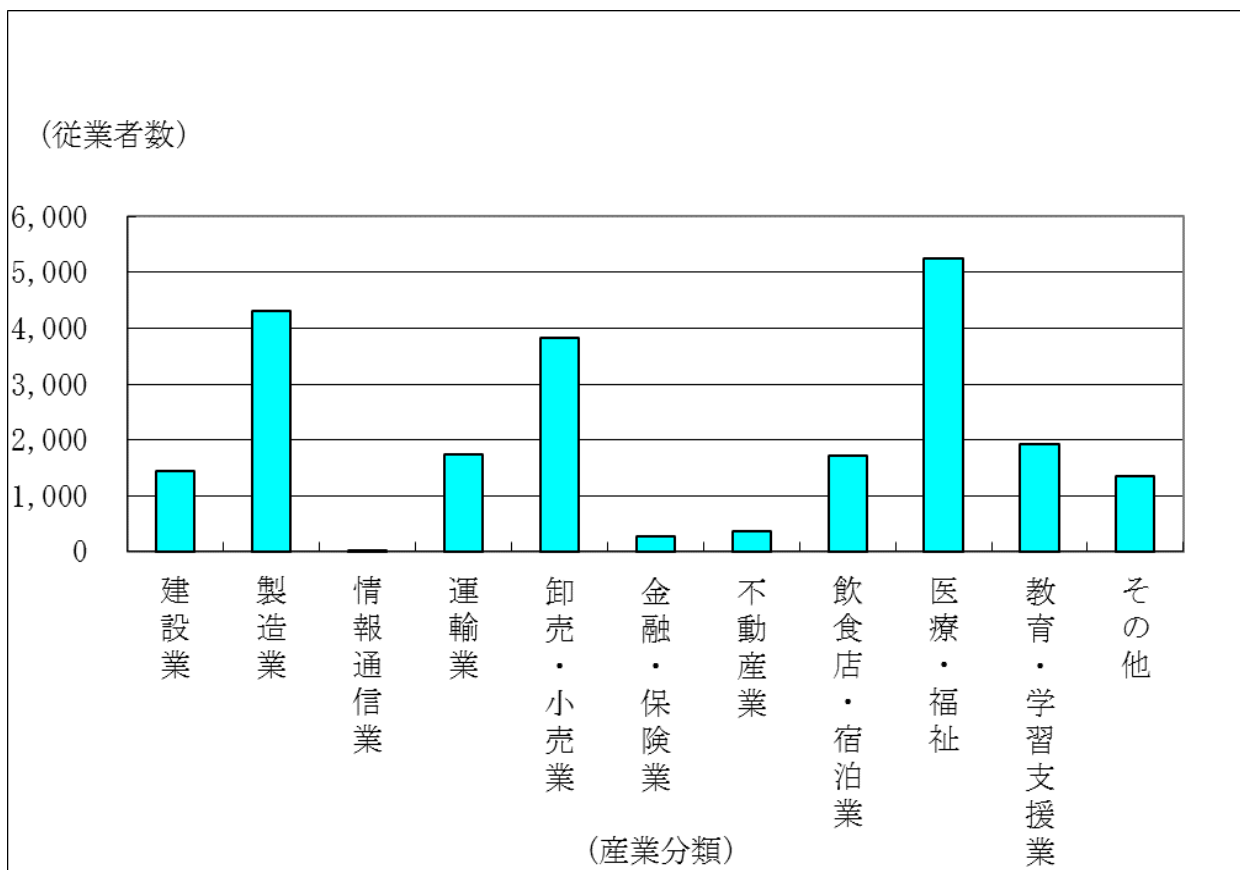
(3) 産業（大分類）別従業者数

平成26年の下野市の産業（大分類）別従業者数を見ると、医療・福祉（5,248人）が最も多く、2番目に製造業（4,310人）、3番目に卸売・小売業（3,823人）、4番目に教育・学習支援業（1,918人）となっている。

産業（大分類）別従業者数

単位：人

	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	その他
下野市	1,440	4,310	25	1,735	3,823	272	355	1,710	5,248	1,918	1,341



資料：平成26年経済センサス基礎調査
(平成26年7月1日現在)

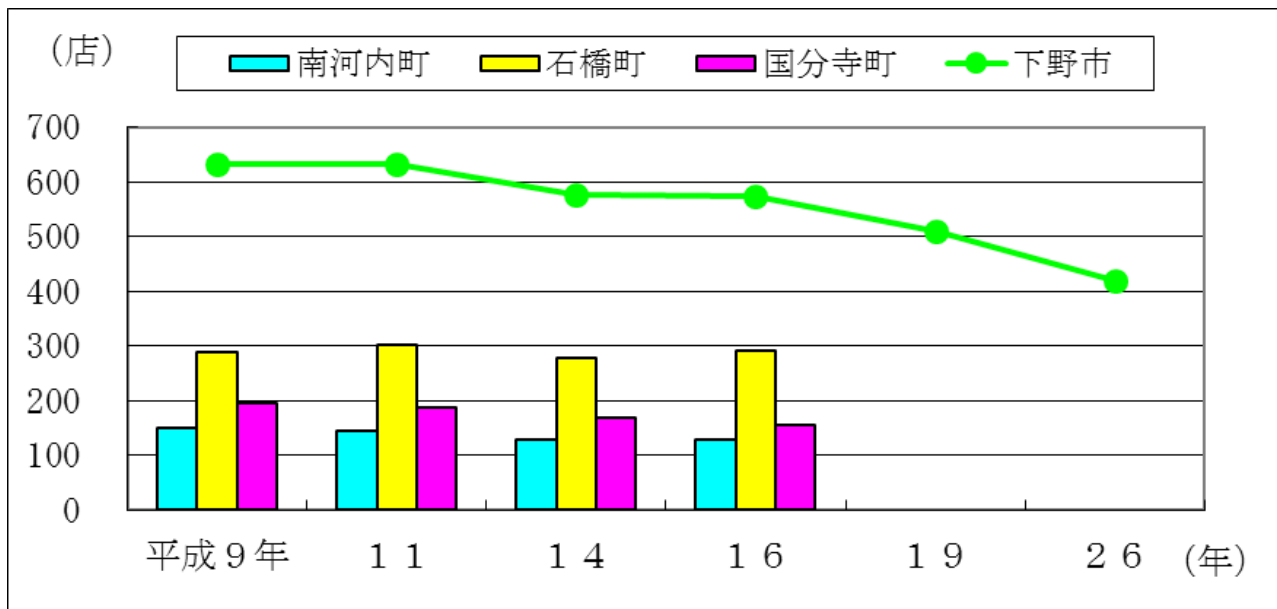
2 商業

(1) 商店数

下野市の商店数の推移をみると、平成9年（634）から平成26年（420）までの間に214減少している。

商店数の推移

	平成9年	11	14	16	19	26
南河内町	151	145	129	129	—	—
石橋町	288	301	279	291	—	—
国分寺町	195	188	170	155	—	—
下野市	634	634	578	575	510	420



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：商業統計調査（各年6月1日）

平成26年経済センサス基礎調査（7月1日現在）

参考

平成26年経済センサス基礎調査の商店数

宇都宮市	4,446	日光市	925	那須塩原市	1,088
足利市	1,560	小山市	1,315	さくら市	319
栃木市	1,527	真岡市	650	那須烏山市	270
佐野市	1,395	大田原市	660		
鹿沼市	947	矢板市	311		

平成26年7月1日現在

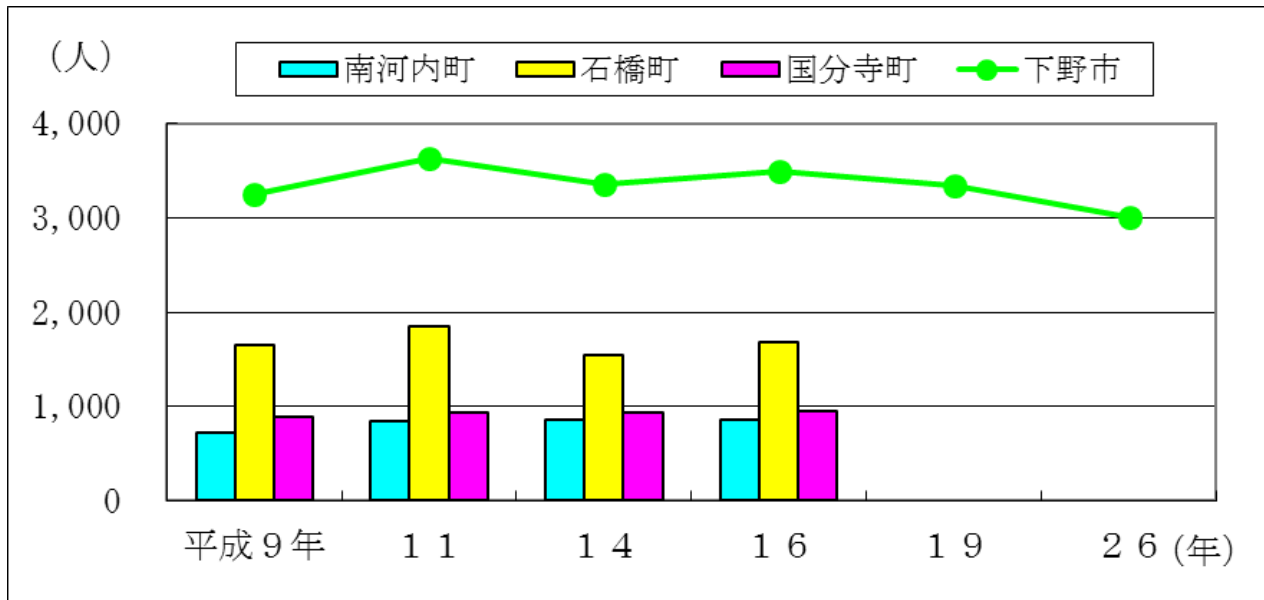
(2) 従業者数

下野市の商業従事者数の推移をみると、平成9年(3,247人)から平成26年(3,003人)までに244人減少している。

商業従業者数の推移

単位：人

	平成9年	11	14	16	19	26
南河内町	717	842	863	857	—	—
石橋町	1,649	1,846	1,547	1,685	—	—
国分寺町	881	939	940	952	—	—
下野市	3,247	3,627	3,350	3,494	3,348	3,003



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：商業統計調査（各年6月1日）

平成26年経済センサス基礎調査（7月1日現在）

参考

平成26年経済センサス基礎調査の商業従事者数

単位：人

宇都宮市	40,135	日光市	5,168	那須塩原市	7,830
足利市	9,641	小山市	10,800	さくら市	2,216
栃木市	9,614	真岡市	4,375	那須烏山市	1,269
佐野市	8,753	大田原市	3,924		
鹿沼市	6,608	矢板市	1,852		

平成26年7月1日現在

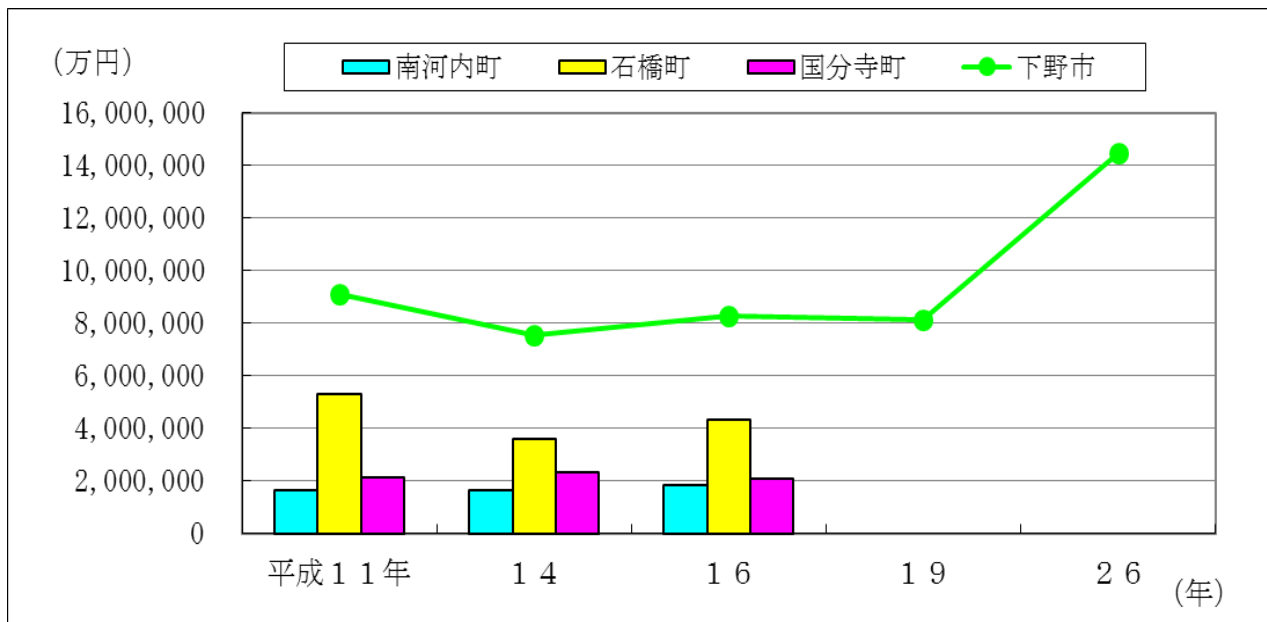
(3) 年間商品販売額

下野市の商店の年間商品販売額の推移をみると、平成11年（9,105,593万円）から平成26年（14,470,032万円）までに5,364,439万円増加している。

商店の年間商品販売額の推移

単位：万円

	平成11年	14	16	19	26
南河内町	1,658,276	1,651,579	1,832,820	—	—
石橋町	5,287,075	3,583,253	4,350,057	—	—
国分寺町	2,160,242	2,324,199	2,092,870	—	—
下野市	9,105,593	7,559,031	8,305,747	8,103,981	14,470,032



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：商業統計調査（各年6月1日）

平成26年経済センサス基礎調査（7月1日現在）

参考

平成26年商業統計調査の年間商品販売額

単位：万円

宇都宮市	204,021,938	日光市	9,773,974	那須塩原市	22,192,785
足利市	25,856,892	小山市	38,266,381	さくら市	6,068,829
栃木市	27,765,834	真岡市	10,297,216	那須烏山市	2,208,595
佐野市	28,761,009	大田原市	11,545,969		
鹿沼市	19,375,557	矢板市	4,743,596		

平成26年7月1日現在

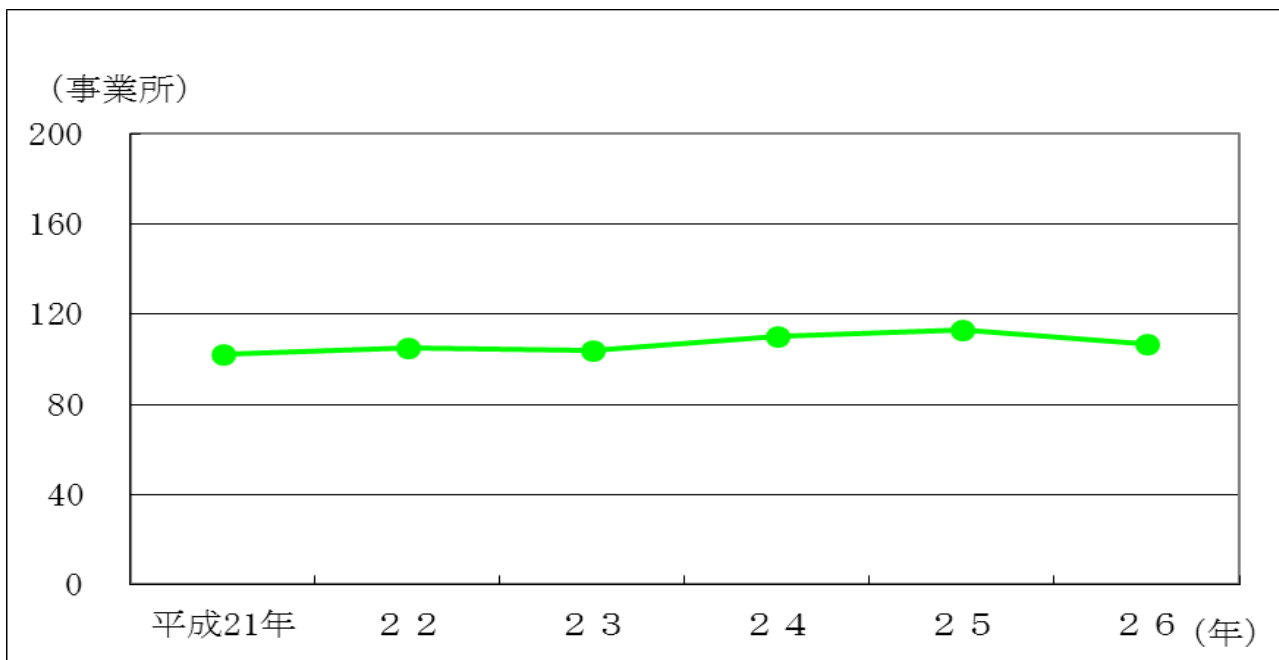
3 工業

(1) 事業所数

下野市の生産活動を行う事業所数の推移をみると、平成21年（102）から平成26年（107）までに5増加している。

生産活動を行う事業所数の推移

	平成21年	22	23	24	25	26
下野市	102	105	104	110	113	107



資料：工業統計（各年12月31日現在）
（従業者4人以上の事業所）

参 考

平成26年工業統計調査の事業所数

宇都宮市	529	日光市	204	那須塩原市	230
足利市	585	小山市	271	さくら市	109
栃木市	426	真岡市	187	那須烏山市	120
佐野市	413	大田原市	161		
鹿沼市	404	矢板市	64		

平成26年12月31日現在

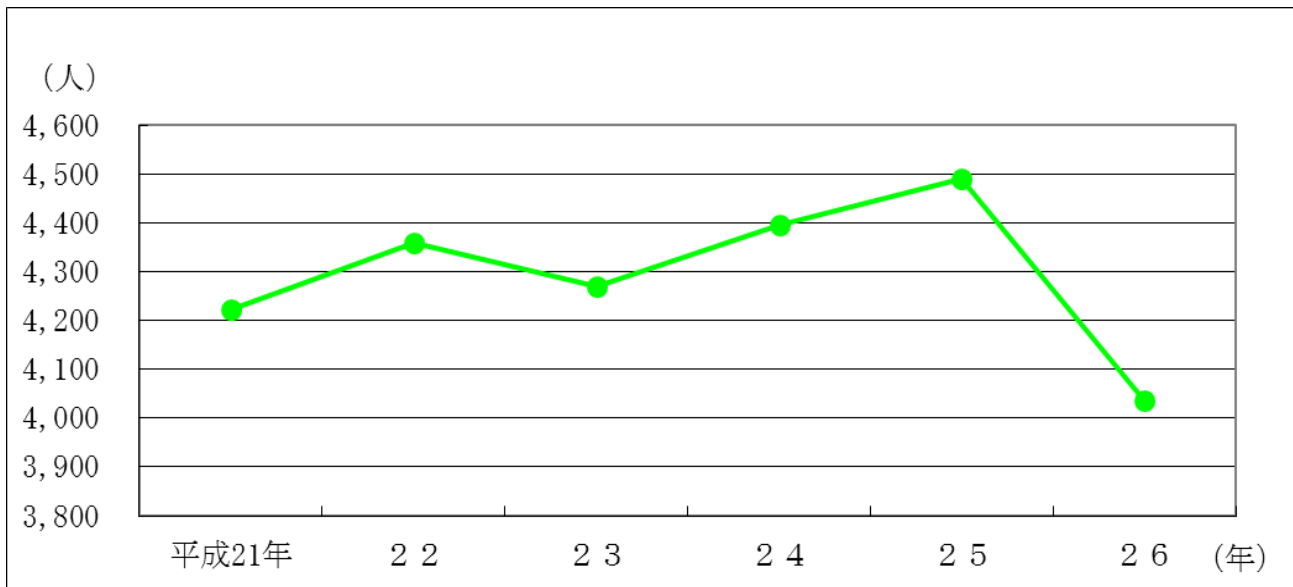
(2) 従業者数

下野市の生産活動を行う事業所の従業者の推移をみると、平成21年(4,224人)から平成26年(4,037人)までに187人減少している。

生産活動を行う事業所の従業者数の推移

単位：人

	平成21年	22	23	24	25	26
下野市	4,224	4,360	4,271	4,397	4,490	4,037



資料：工業統計（各年12月31日現在）
（従業者4人以上の事業所）

参 考

平成26年工業統計調査の事業所の従業者数

単位：人

宇都宮市	30,379	日光市	7,213	那須塩原市	9,810
足利市	14,956	小山市	16,443	さくら市	4,731
栃木市	17,039	真岡市	12,820	那須烏山市	3,180
佐野市	13,403	大田原市	10,893		
鹿沼市	13,720	矢板市	3,319		

平成26年12月31日現在

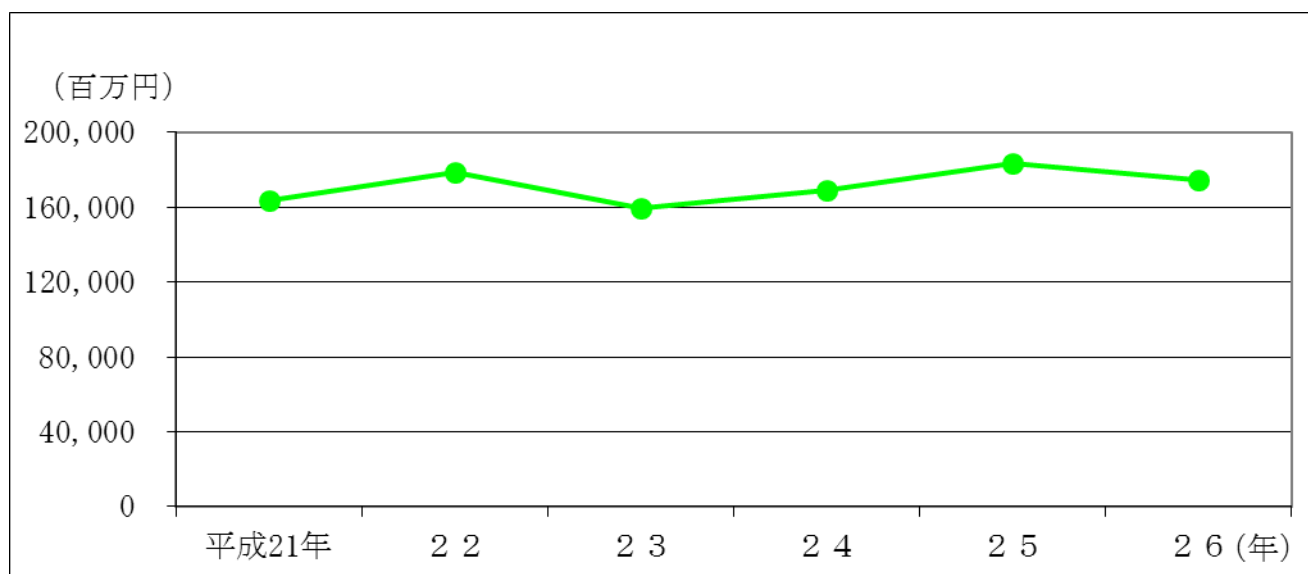
(3) 製造品出荷額

下野市の製造品出荷額の推移をみると、平成21年（163,320百万円）から平成26年（174,698百万円）に11,378百万円増加している。

製造品出荷額の推移

単位：百万円

	平成21年	22	23	24	25	26
下野市	163,320	178,889	163,320	169,133	183,338	174,698



資料：工業統計（各年12月31日現在）
（従業者4人以上の事業所）

参 考

平成26年工業統計調査の製造品出荷額

単位：万円

宇都宮市	198,105,967	日光市	31,406,785	那須塩原市	35,018,999
足利市	35,066,525	小山市	81,388,729	さくら市	18,736,687
栃木市	89,815,070	真岡市	55,110,080	那須烏山市	5,376,216
佐野市	38,184,242	大田原市	49,296,842		
鹿沼市	41,012,751	矢板市	11,309,481		

平成26年12月31日現在

4 農業

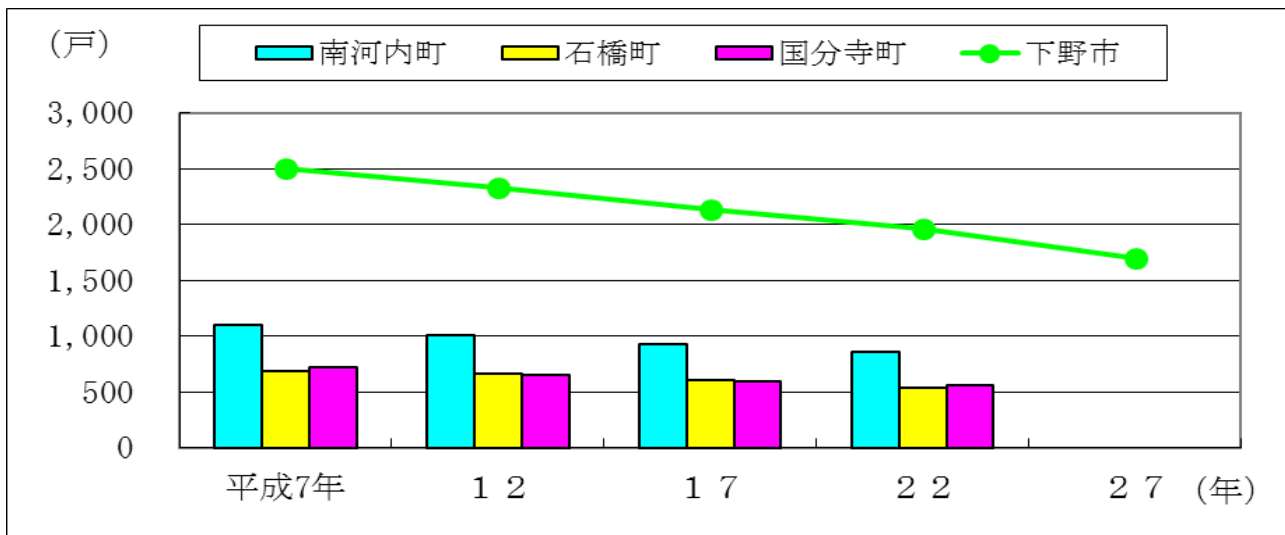
(1) 農家数

下野市の農家数の推移をみると、平成7年(2,508戸)から平成27年(1,702戸)までに806戸減少している。

農家数の推移

単位：戸

	平成7年	12	17	22	27
南河内町	1,099	1,013	933	—	—
石橋町	690	660	604	—	—
国分寺町	719	657	596	—	—
下野市	2,508	2,330	2,133	1,961	1,702



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：農林業センサス（各年2月1日現在）

参考

平成27年農林業センサスの農家数

単位：戸

宇都宮市	5,218	日光市	2,264	那須塩原市	2,820
足利市	1,987	小山市	2,971	さくら市	1,707
栃木市	5,461	真岡市	3,741	那須烏山市	2,048
佐野市	2,867	大田原市	4,151		
鹿沼市	3,325	矢板市	1,163		

平成27年2月1日現在

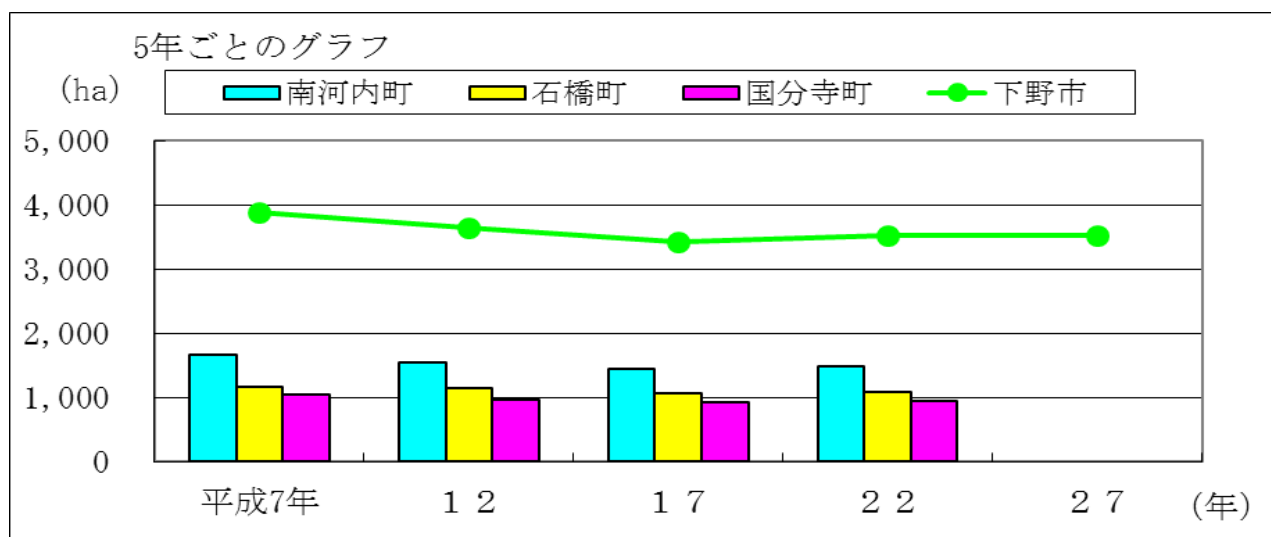
(2) 経営耕地面積

下野市の経営耕地面積（販売農家）の推移をみると、平成7年（3,885ha）から平成27年（3,352ha）までに533ha減少している。

経営耕地面積（販売農家）の推移

単位：ha

	平成7年	12	17	22	27
南河内町	1,668	1,549	1,443	—	—
石橋町	1,166	1,136	1,061	—	—
国分寺町	1,051	966	927	—	—
下野市	3,885	3,651	3,431	3,523	3,352



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：農林業センサス（各年2月1日現在）

参考

平成27農林業センサスの経営耕地面積

単位：ha

宇都宮市	9,899	日光市	4,295	那須塩原市	8,648
足利市	1,721	小山市	6,211	さくら市	4,394
栃木市	7,760	真岡市	7,113	那須烏山市	2,474
佐野市	2,525	大田原市	10,233		
鹿沼市	4,368	矢板市	2,651		

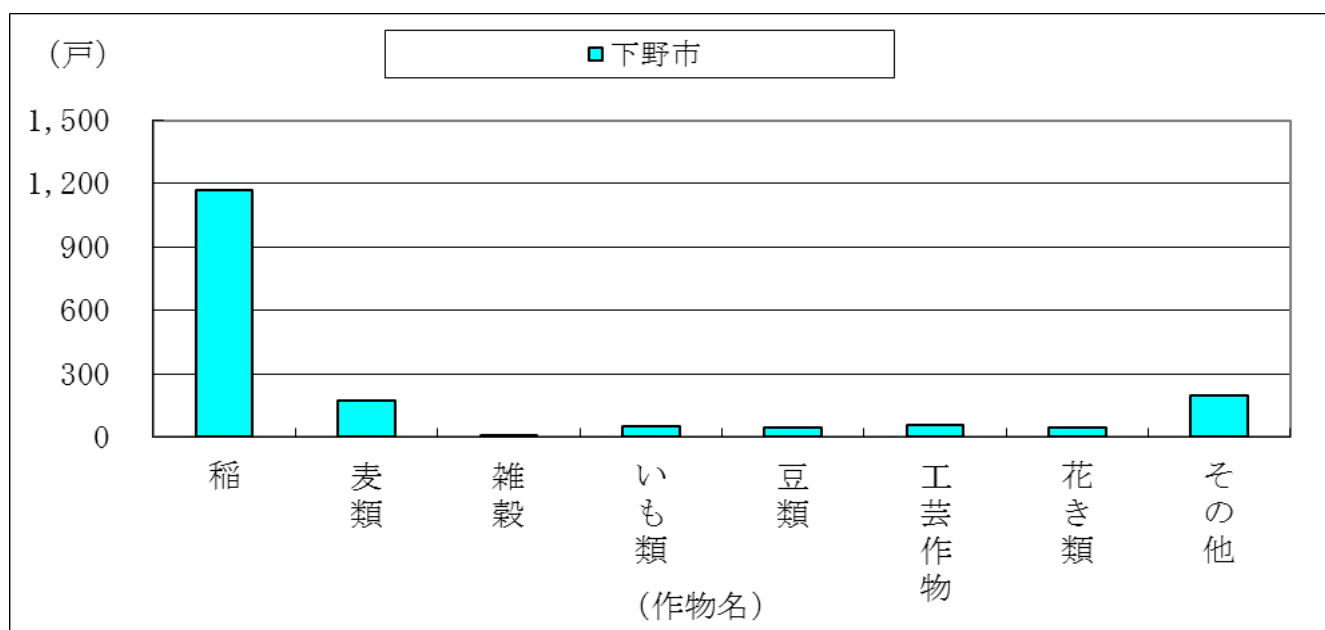
平成27年2月1日現在

(3) 販売目的で作付けした作物

下野市の販売目的で作付け（栽培）した作物の類別経営体数をみると、稲が 1,171 で 1 番多く、2 番目に麦類の 170、3 番目に工芸作物の 56 の順となっている。

販売目的で作付け（栽培）した作物の類別経営体数

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
下野市	1,171	170	11	49	44	56	44	197



資料：農林業センサス（平成27年）

参考

平成27年農林業センサスの販売目的で作付け（栽培）した作物の類別経営体数

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
宇都宮市	3,412	276	104	146	134	7	115	269
栃木市	3,281	783	135	160	153	11	46	322
小山市	1,648	370	46	54	72	21	45	287
上三川町	956	91	7	7	11	18	10	107
壬生町	795	94	32	37	72	7	25	34

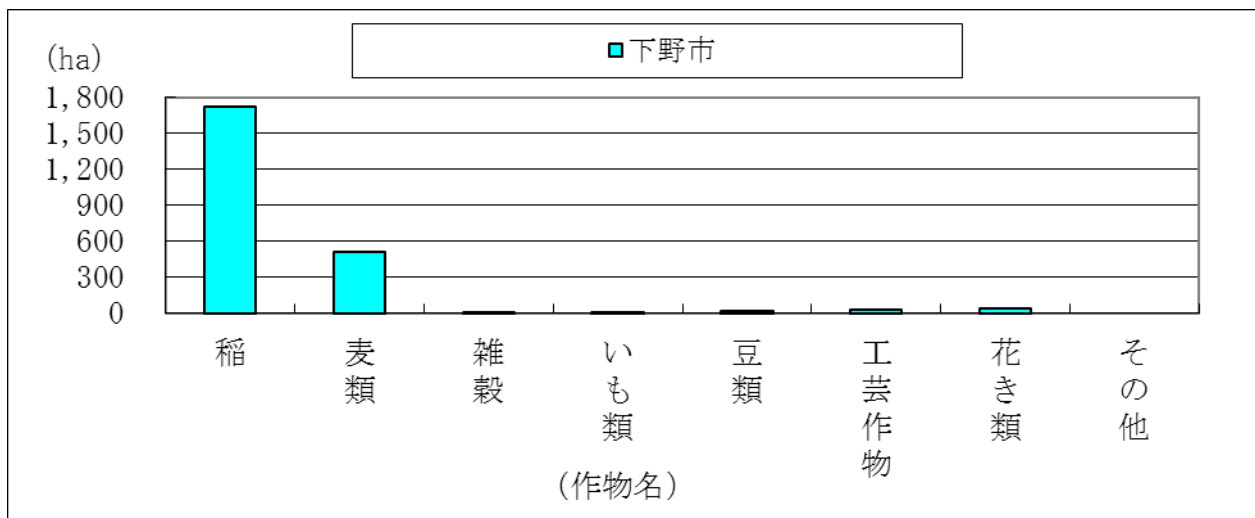
平成27年2月1日現在

下野市の販売目的で作付け（栽培）した作物の類別作付面積は、稲が 1,723ha で 1 番多く、2 番目に麦類の 509ha、3 番目に工芸作物の 27ha の順となっている。

販売目的で作付け（栽培）した作物の類別作付け面積

単位：ha

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
下野市	1,723	509	8	9	14	27	36	—



※単位に満たないものについては空欄となっている 資料：農林業センサス(平成27年)

参考

平成27年農林業センサスの販売目的で作付け（栽培）した作物の作付面積 単位：ha

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
宇都宮市	5,823	673	105	6	141	2	79	310
栃木市	4,076	1,723	106	7	150		22	469
小山市	2,179	861	202	10	118	9		296
上三川町	1,010	109	9	3		5		
壬生町	1,072	201	22	5	23	2		

平成27年2月1日現在

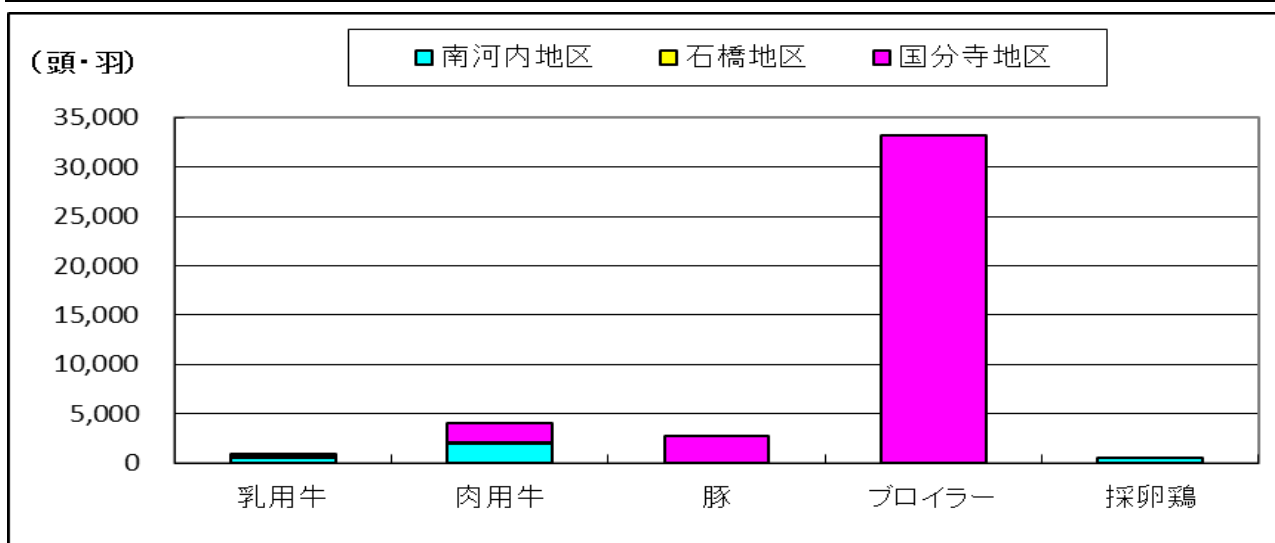
(4) 家畜飼養頭羽数

下野市の家畜飼養頭羽数は、肉用牛 4,087 頭、豚 2,790 頭、乳用牛 906 頭、ブロイラー 33,200 羽、採卵鶏 500 羽となる。

家畜飼養頭羽数

単位：頭・羽

	乳用牛	肉用牛	豚	ブロイラー	採卵鶏
南河内地区	538	1,985	0	0	500
石橋地区	307	153	0	0	0
国分寺地区	61	1,949	2,790	33,200	0
下野市	906	4,087	2,790	33,200	500



※ 3地区の合計を下野市として作成

資料：農林業センサス（平成22年）

参 考

平成22年農林業センサスの家畜飼養頭羽数

単位：頭・羽

宇都宮市	10,368	日光市	10,983	那須塩原市	24,501
足利市	2,793	小山市	8,428	さくら市	9,817
栃木市	3,646	真岡市	16,289	那須烏山市	11,614
佐野市	958	大田原市	16,005		
鹿沼市	8,640	矢板市	1,821		

2月1日現在

※牛・豚はそれぞれ1頭とし、鶏については100羽を牛・豚1頭分として算出（ブロイラー羽数は除く）

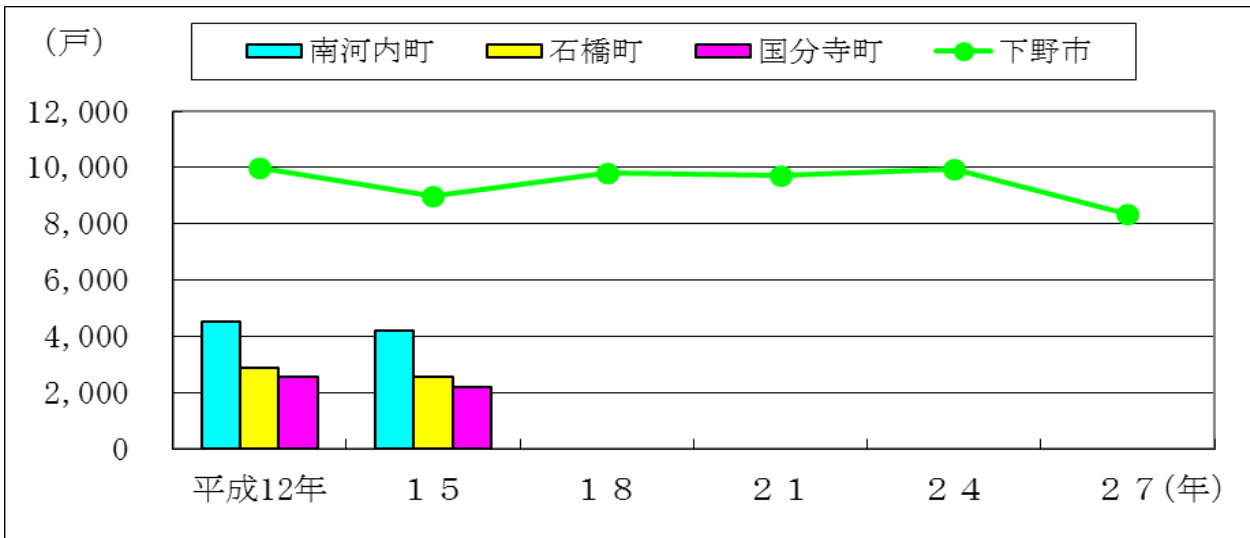
(5) 水稻収穫量

下野市の水稲収穫量の推移をみると、平成12年(9,980t)から平成27年(8,340t)までに1,640t減少している。

水稻収穫量

単位：t

	平成12年	15	18	21	24	27
南河内町	4,530	4,210	-	-	-	-
石橋町	2,890	2,570	-	-	-	-
国分寺町	2,560	2,210	-	-	-	-
下野市	9,980	9,990	9,820	9,730	9,930	8,340



【参考】水稻作付面積

単位：ha

旧町別	平成12年	15	18	21	24	27
南河内町	880	850	-	-	-	-
石橋町	525	520	-	-	-	-
国分寺町	467	448	-	-	-	-
下野市	1,872	1,818	1,880	1,850	1,850	1,750

資料：栃木県統計年鑑

参 考

平成27年水稻収穫量

単位：t

下野市	8,340	佐野市	7,580	真岡市	21,900	那須烏山市	8,000
宇都宮市	34,100	鹿沼市	10,200	大田原市	38,200	那須塩原市	24,800
足利市	4,800	日光市	11,700	矢板市	9,260		
栃木市	21,600	小山市	15,100	さくら市	18,000		

5 林業

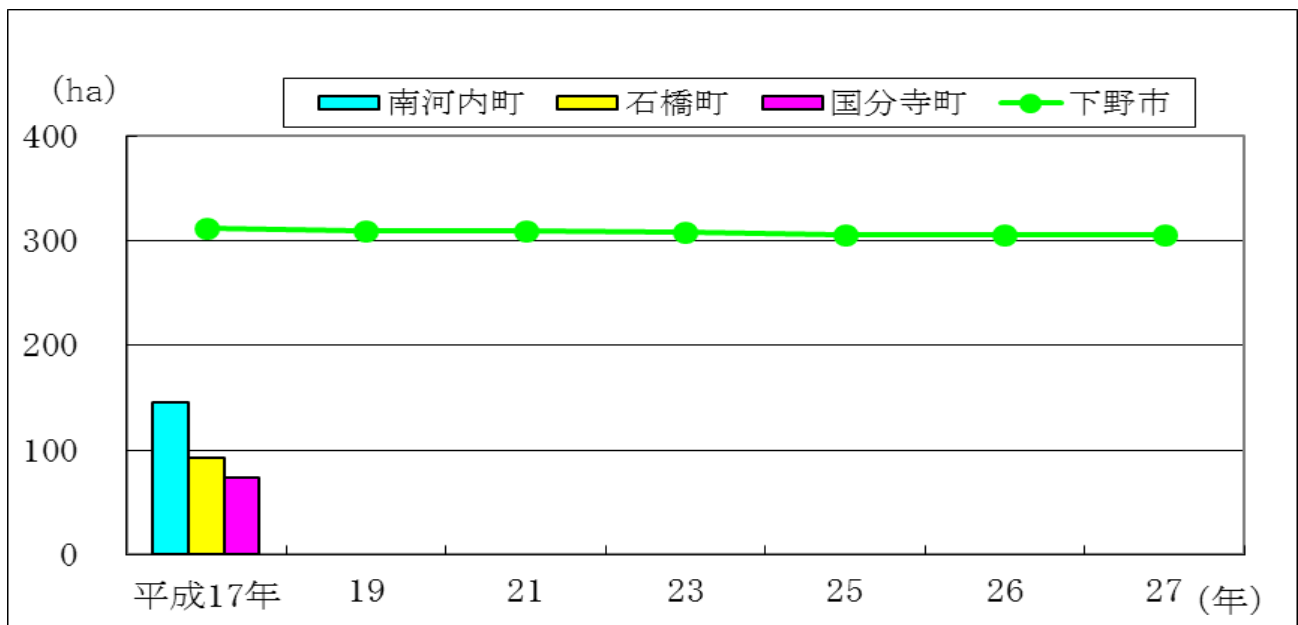
(1) 林野面積

下野市の林野面積の推移をみると、平成17年(312ha)から平成27年(306ha)までに6ha減少している。

林野面積の推移

単位：ha

	平成17年	19	21	23	25	26	27
南河内町	145	-	-	-	-	-	
石橋町	93	-	-	-	-	-	
国分寺町	74	-	-	-	-	-	
下野市	312	309	309	308	306	306	306



資料：栃木県環境森林部（各年3月31日現在）

参 考

平成27年の林野面積

単位：ha

宇都宮市	8,179	日光市	125,324	那須塩原市	38,572
足利市	7,949	小山市	564	さくら市	2,525
栃木市	8,391	真岡市	1,442	那須烏山市	8,134
佐野市	21,825	大田原市	15,301		
鹿沼市	33,671	矢板市	9,778		

平成27年3月31日現在

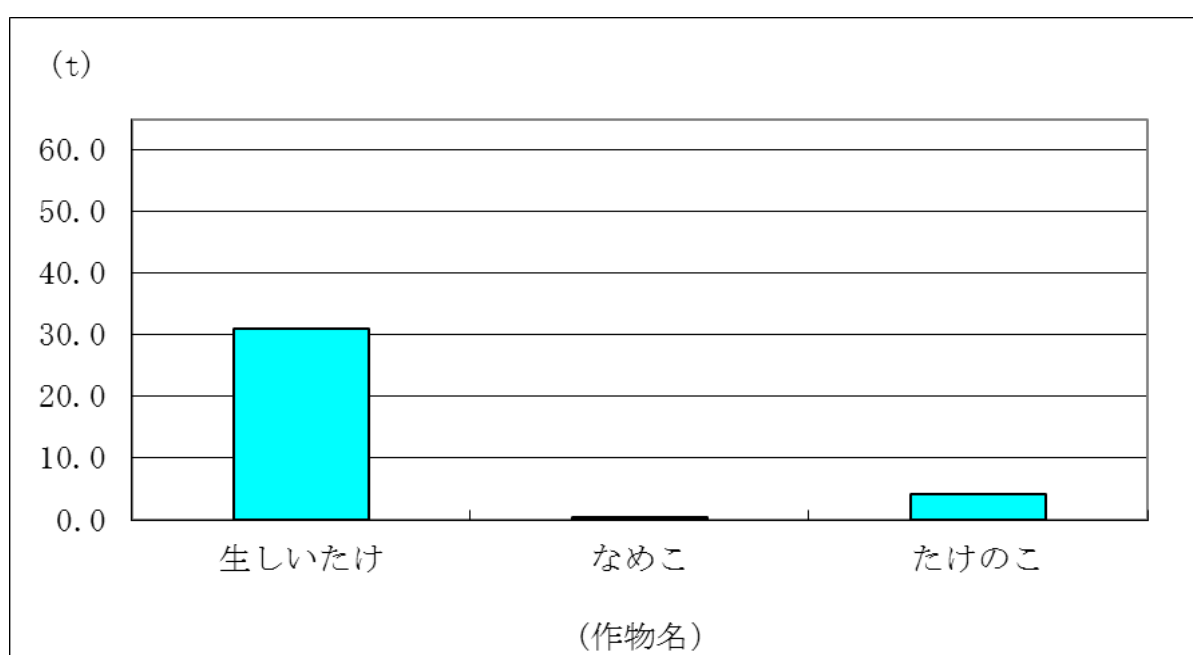
(2) 平成26年特用林産物生産量

下野市の平成26年の特用林産物生産量をみると、生しいたけが31.0tで1番多い。また、2番目にたけのこが4.1t、3番目になめこが0.4tとなっている。

平成26年特用林産物生産量

単位：t

	生しいたけ	なめこ	たけのこ
下野市	31.0	0.4	4.1



資料：栃木県環境森林部

解説

特用林産物とは、森林原野において産出されてきた産物で、通常林産物と称するもののうち、一般用材を除く品目の総称と定義されています。つまり、森林から生産されるもののうち、建築用材以外のものすべてを特用林産物といいます。かつては、林野副産物とか特殊林産物などとも呼ばれていましたが、現在では特用林産物に統一されています。

特用林産物は、きのこ類をはじめ、くりなどの樹実類、たらの芽、わさび等の山菜類、そのほか木炭類、竹類など多岐にわたっています。

IV 医療・社会福祉

1 医療

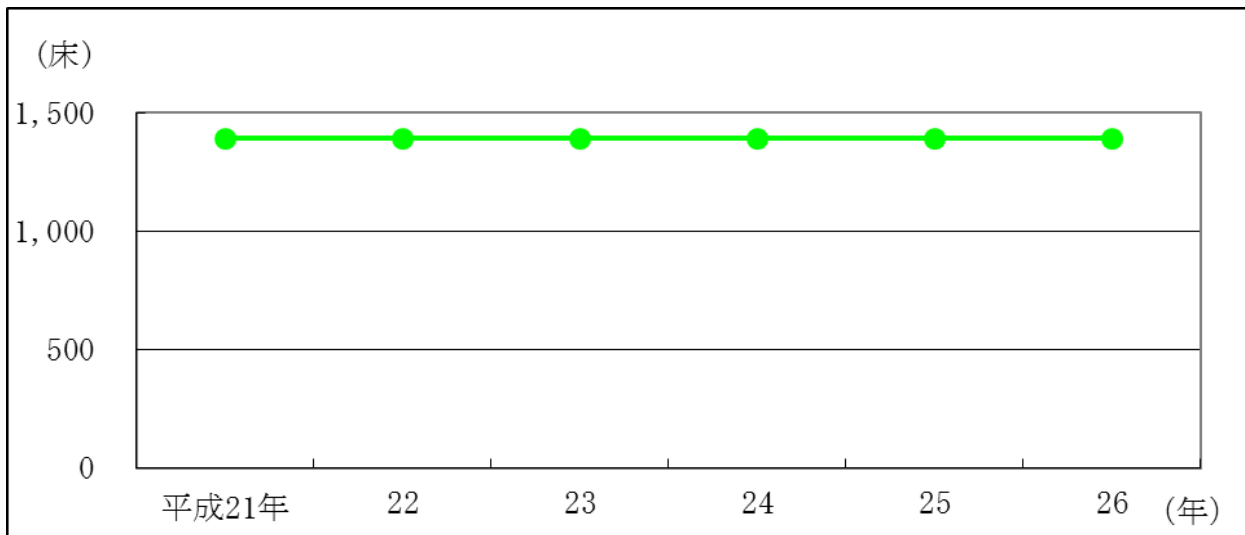
(1) 一般病院の病床数

下野市の一般病院の病床数の推移をみると、平成21年(1,394)から平成26年(1,394)は同床数である。

一般病院の病床数の推移

	平成21年	22	23	24	25	26
下野市	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394

※資料：栃木県保健統計年報



※ 一般病院は自治医科大学附属病院（南河内地区）石橋総合病院（石橋地区）・小金井中央病院（国分寺地区）の3病院となる。

解説

- ① 一般病院・・・下記の②～④以外で一般病床をもつ病院
- ② 精神病院・・・精神病床のみの病院
- ③ 結核病院・・・結核病床のみの病院
- ④ 感染症病院・・・感染症病床のみの病院

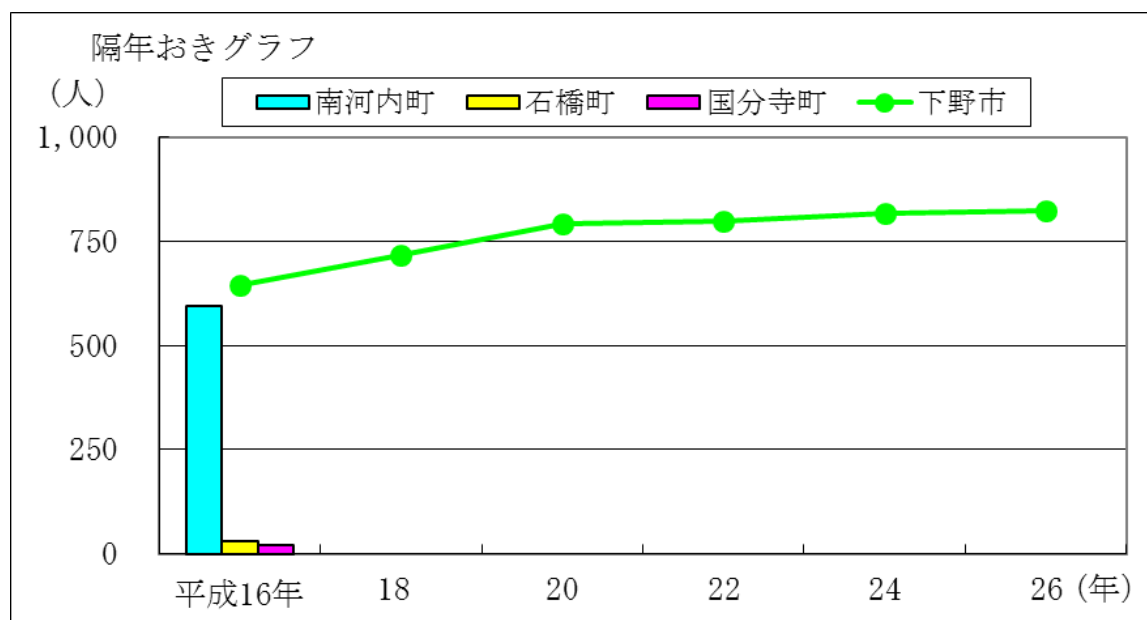
(2) 一般病院の医師数

下野市の一般病院の医師数の推移をみると、平成16年から（645人）から平成26年（822人）までに177人増加している。

医療施設の従事者の推移

単位：人

	平成16年	18	20	22	24	26
南河内町	595	—	—	—	—	—
石橋町	31	—	—	—	—	—
国分寺町	19	—	—	—	—	—
下野市	645	716	791	800	817	822



資料：栃木県保健統計年報

- ※ 3町の合計を下野市として作成
- ※ 一般病院は自治医科大学附属病院（南河内地区）・石橋総合病院（石橋地区）・小金井中央病院（国分寺地区）の3病院となる。
- ※ 18年以降は下野市のみ

(3) 死因別死亡者数

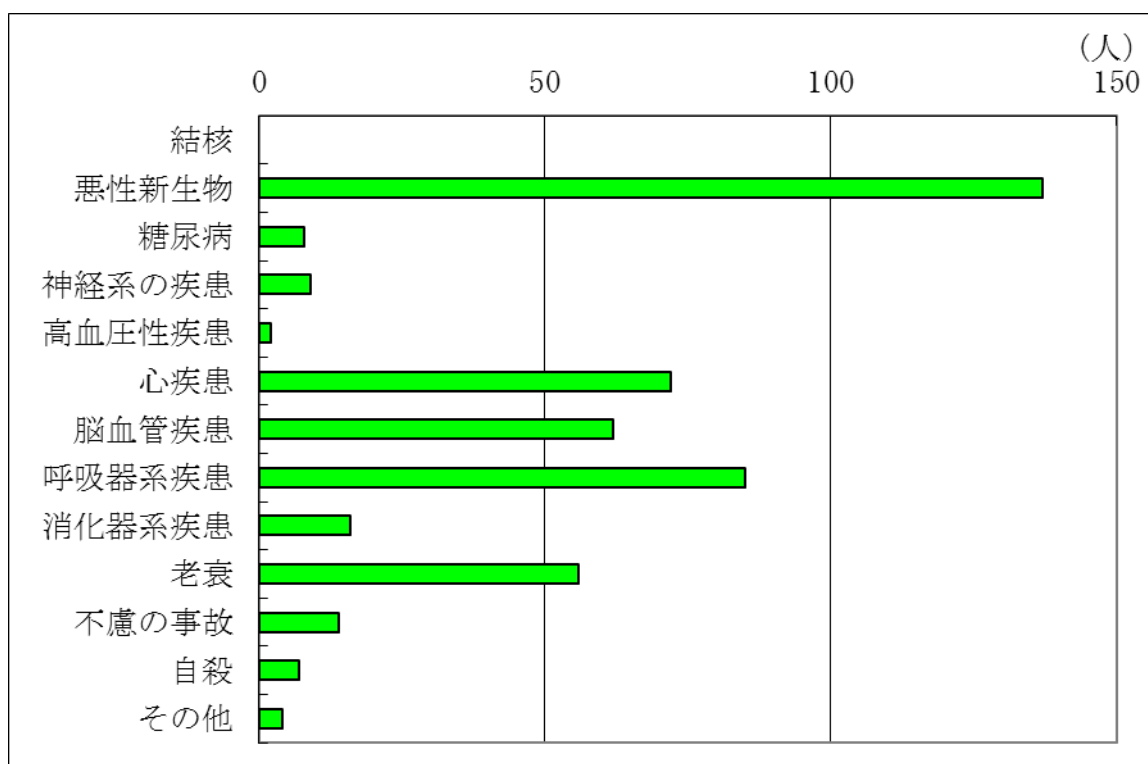
下野市の平成26年死因別死亡者数をみると、悪性新生物が137人で1番多く、2番目に呼吸器系疾患85人、心疾患72人、脳血管疾患62人の順となっている。

5番目以降は、老衰、消化器系疾患、不慮の事故、神経系の疾患、糖尿病、自殺、その他、高血圧性疾患の順になっている。

平成26年死因別死亡者数

単位：人

	結核	悪性新生物	糖尿病	神経系の疾患	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	老衰	不慮の事故	自殺	その他
下野市	0	137	8	9	2	72	62	85	16	56	14	7	4



※ 悪性新生物とはガンのことである。

資料：栃木県保健統計年報

2 国民健康保険

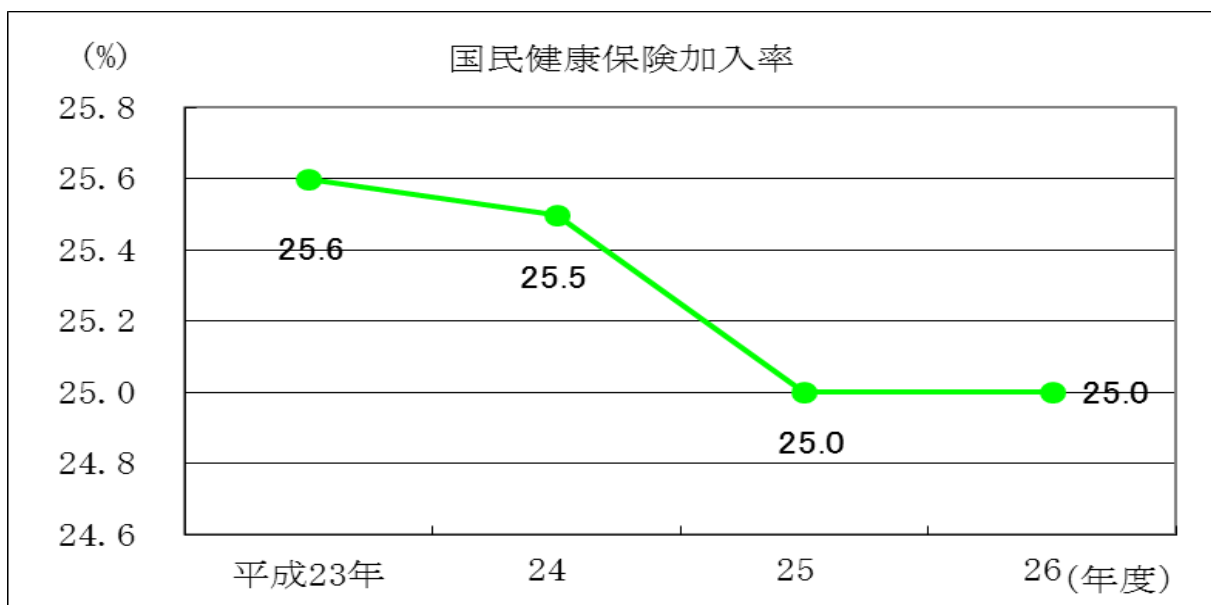
下野市の国民健康保険加入者の推移をみると、平成23年(25.6%)、平成24年(25.5%)、平成25年(25.0%)、平成26年(25.0%)となっている。

国民健康保険加入者の推移

単位:世帯・人・%

	世帯総数	加入世帯	人口総数	被保険者数	加入率
平成23年度	21,495	7,925	59,589	15,277	25.6
24	21,996	7,974	60,034	15,299	25.5
25	22,296	7,919	60,039	15,981	25.0
26	22,567	7,891	60,066	14,700	25.0

資料：栃木県国民健康保健事業状況



(各年3月末現在)

参 考

平成26年度国民健康保険被保険者数

単位：人

宇都宮市	134,427	日光市	25,649	那須塩原市	36,685
足利市	45,742	小山市	45,413	さくら市	11,530
栃木市	47,825	真岡市	24,442	那須烏山市	9,042
佐野市	35,489	大田原市	21,689		
鹿沼市	28,386	矢板市	9,753		

平成27年3月31日現在

3 介護保険

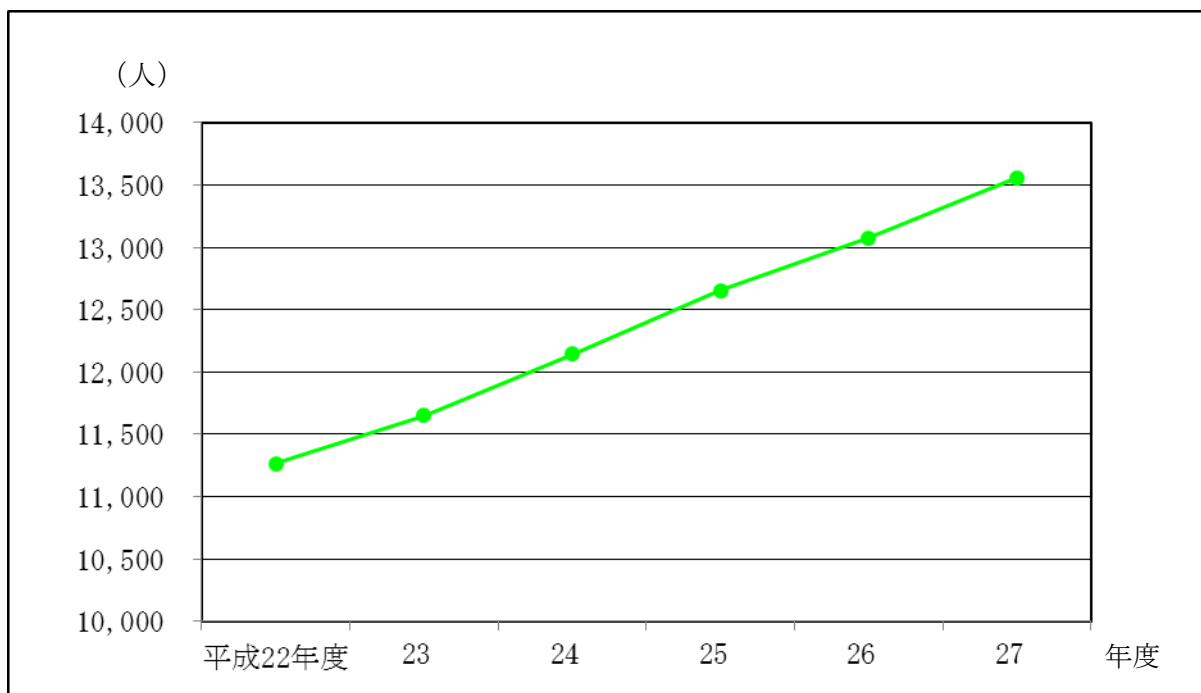
(1) 被保険者数

下野市の介護保険第1号被保険者数の推移をみると、平成22年（11,262人）から、平成27年（13,561人）までに2,299人増加している。

介護保険第1号被保険者数の推移

単位：人

	平成22年度	23	24	25	26	27
下野市	11,262	11,648	12,143	12,653	13,034	13,561



資料：介護保険事業状況報告（各年度末現在）

解説

介護保険は、40歳以上の皆さんが保険料を負担し、介護を必要とされる方やその家族が抱えている介護の不安や負担を社会全体で支える制度です。

○第1号被保険者…市内に住んでいる65歳以上の方

○第2号被保険者…市内に住んでいる40歳から64歳までの医療保険に加入している方

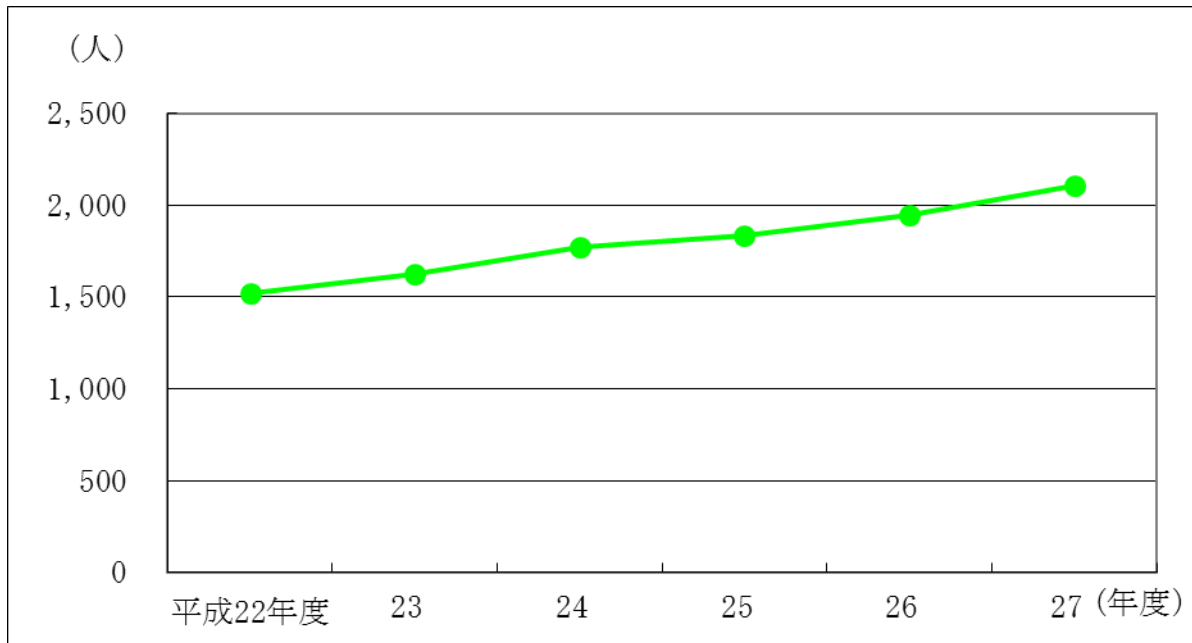
(2) 要介護者数

下野市の要介護者数の推移をみると、平成22年(1,521人)から平成27年(2,104人)までに583人増加している。

要介護者数の推移

単位：人

	平成22年度	23	24	25	26	27
下野市	1,521	1,622	1,773	1,834	1,949	2,104



資料：介護保険事業状況報告（各年度末現在）

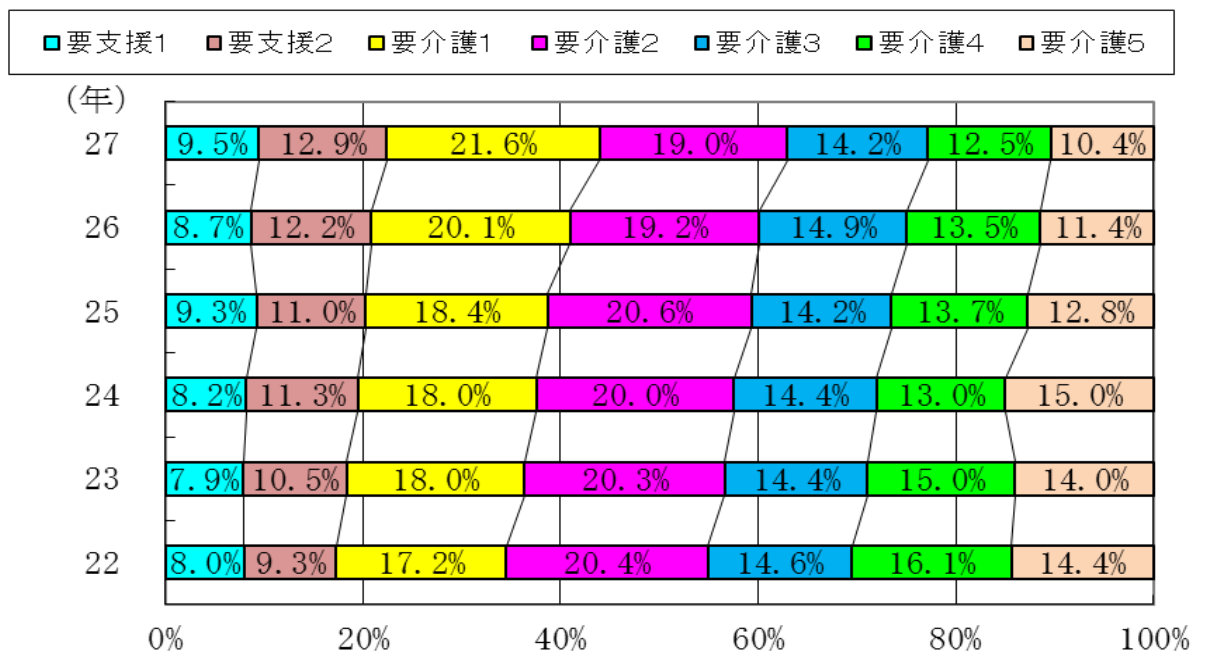
要介護者数内訳

単位：人

	平成22年度	23	24	25	26	27
要支援1	122	128	145	170	169	199
要支援2	142	171	201	202	237	272
要介護1	262	291	320	338	392	454
要介護2	310	330	354	378	374	399
要介護3	222	233	256	260	290	299
要介護4	244	243	231	252	264	263
要介護5	219	226	266	234	223	218

資料：介護保険事業状況報告（各年度末現在）

介護の程度による割合



解説

要支援

日常生活上の基本動作についてはほぼ自分で行うことが可能だが、日常生活動作の介助や現在の状態の防止により要介護状態となることの予防に資するように、手段的日常生活について何らかの支援を要する状態。

要介護1～5

日常生活上の基本的動作についても自分で行うことが困難であり、何らかの介護を要する状態。数字が大きいほど介護の必要性が高いことを示す。

※ 要支援・要介護状態については、主治医の意見書、介護認定調査の結果をもとに「介護認定審査会」において審査判定されます。

※ 平成18年4月より、要支援1・2、要介護1～5と改正

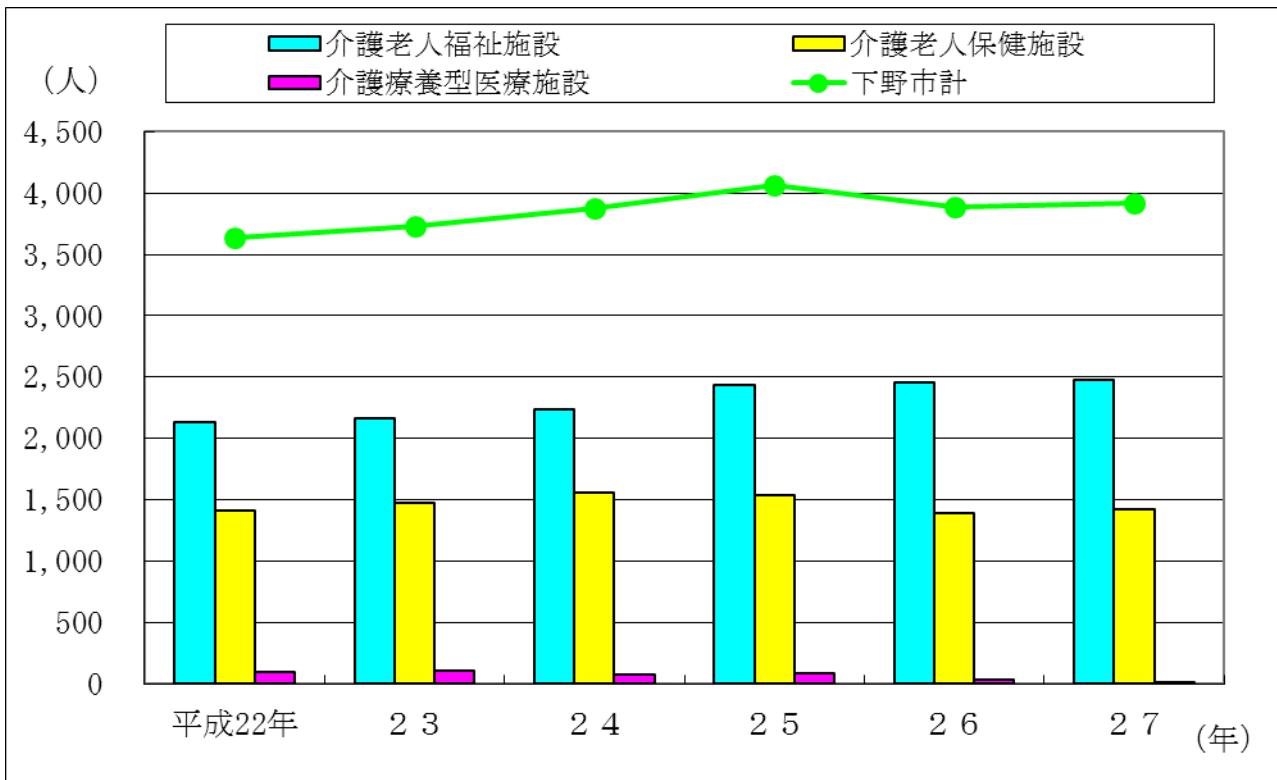
(3) サービス施設利用者数

下野市のサービス施設の利用者数の推移をみると、平成22年から平成27年までに、介護老人福祉施設が347人増加、介護老人保健施設が15人増加、介護療養型医療施設が79人減少している。

サービス施設利用者数の推移

単位：人（延べ人数）

	平成22年	23	24	25	26	27
介護老人福祉施設	2,131	2,161	2,240	2,441	2,455	2,478
介護老人保健施設	1,409	1,471	1,557	1,535	1,390	1,424
介護療養型医療施設	94	104	78	84	38	15
下野市計	3,634	3,736	3,875	4,060	3,883	3,917



資料：介護保険事業状況報告年報

解説

介護老人福祉施設・・・常時介護が必要で居宅での生活が困難な人が入所して、日常生活上の介護が受けられます。

介護老人保健施設・・・状態が安定している人が在宅復帰できるよう、リハビリテーションを中心としたケアを行います。

介護療養型医療施設・・・急性期の治療を終え、長期の療養を必要とする人のための医療施設です。

4 生活保護

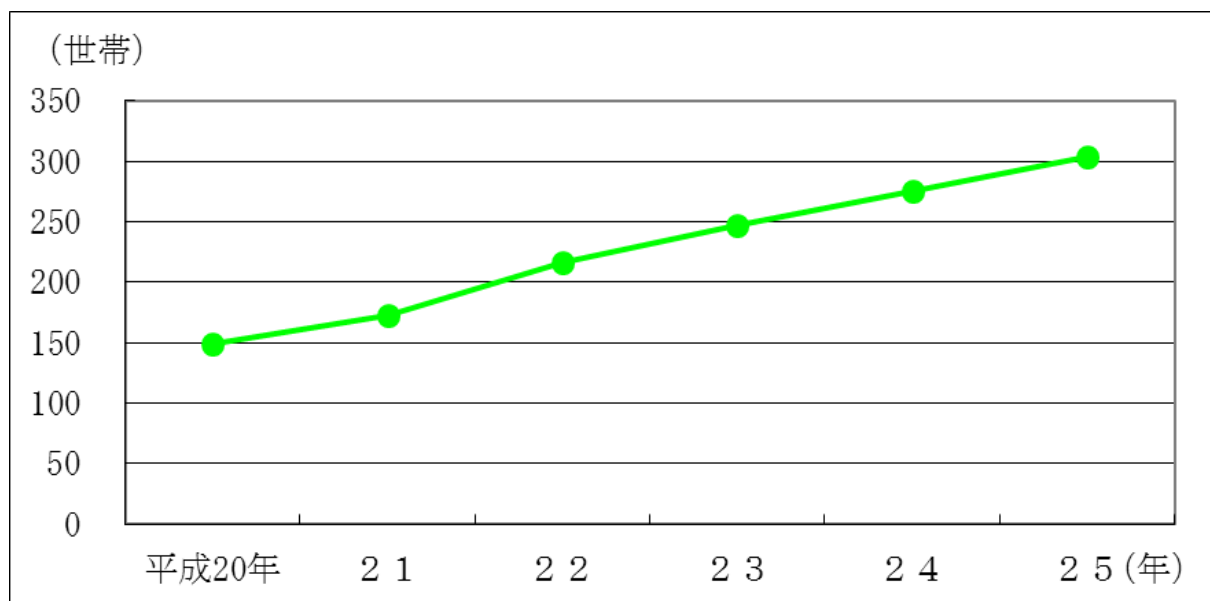
(1) 生活保護世帯数

下野市の生活保護世帯数の推移をみると、平成20年（149世帯）から平成25年（304世帯）までに155世帯増加している。

生活保護世帯数の推移

単位：世帯

	平成20年	21	22	23	24	25
下野市	149	173	216	247	275	304



資料：栃木県統計年鑑

※ 1年間の合計を12ヶ月で割った平均

参 考

生活保護世帯数

単位：世帯

宇都宮市	6,382	鹿沼市	544	大田原市	526	那須烏山市	111
足利市	1,165	日光市	645	矢板市	230		
栃木市	939	小山市	1,136	那須塩原市	776		
佐野市	944	真岡市	587	さくら市	213		

平成25年度の平均

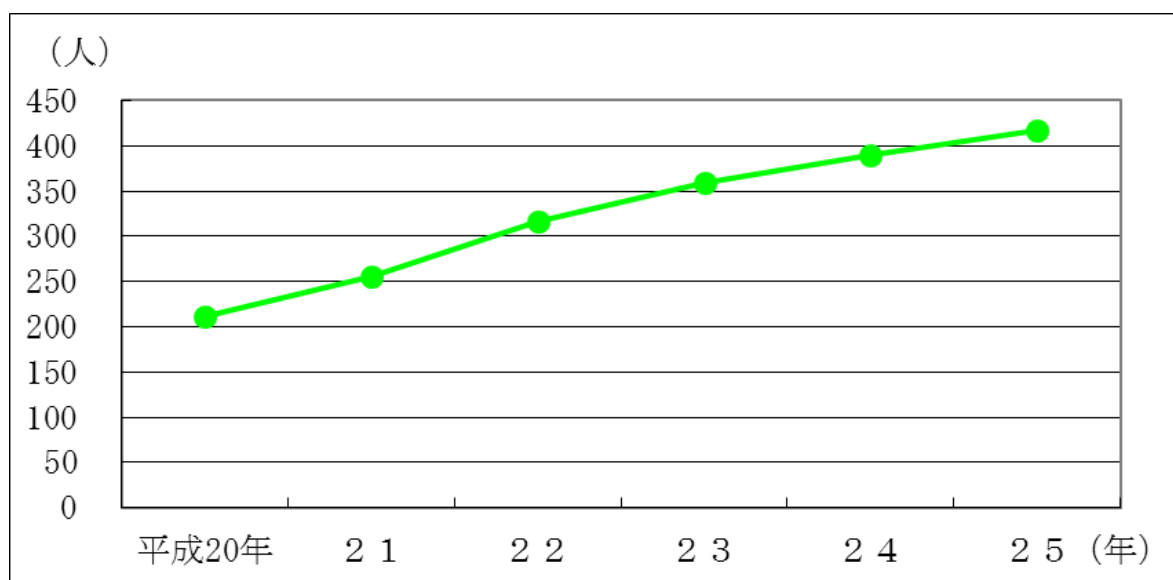
(2) 生活保護人数

下野市の生活保護人数の推移をみると、平成20年(212人)から平成25年(417人)までに205人増加している。

生活保護人数の推移

単位：人

	平成20年	21	22	23	24	25
下野市	212	255	316	360	390	417



資料：栃木県統計年鑑

※ 1年間の合計を12ヶ月で割った平均

参 考

生活保護人数

単位：人

宇都宮市	8,633	鹿沼市	691	大田原市	715	那須烏山市	167
足利市	1,434	日光市	840	矢板市	284		
栃木市	1,310	小山市	1,523	那須塩原市	1,040		
佐野市	1,199	真岡市	829	さくら市	285		

平成25年度の平均

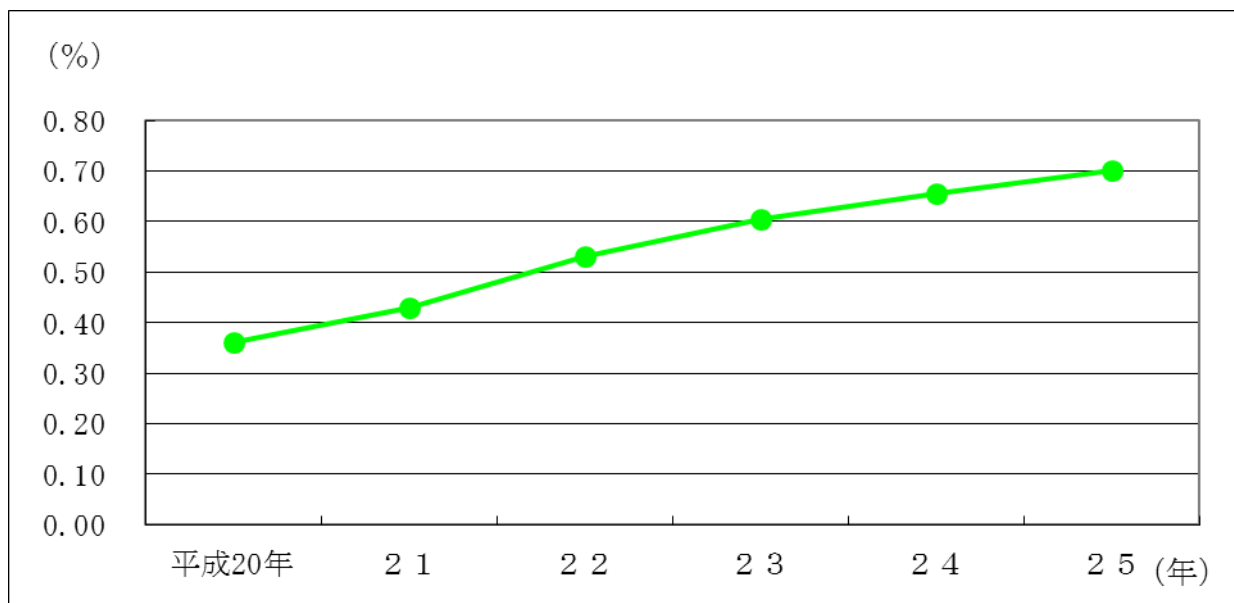
(3) 生活保護率

下野市の生活保護率（市人口に対する生活保護者の割合）の推移をみると、平成20年（0.36%）から平成25年（0.70%）までに0.34ポイント増加している。

生活保護率の推移

単位：%

	平成20年	21	22	23	24	25
下野市	0.36	0.43	0.53	0.60	0.66	0.70



資料：栃木県統計年鑑

※ 生活保護人数を国勢調査人口で割った数字

参考

生活保護率

単位：%

宇都宮市	1.69	鹿沼市	0.68	大田原市	0.92	那須烏山市	0.57
足利市	0.93	日光市	0.93	矢板市	0.80		
栃木市	0.90	小山市	0.93	那須塩原市	0.88		
佐野市	0.99	真岡市	1.01	さくら市	0.64		

平成25年度の平均

V 上下水道

1 上水道

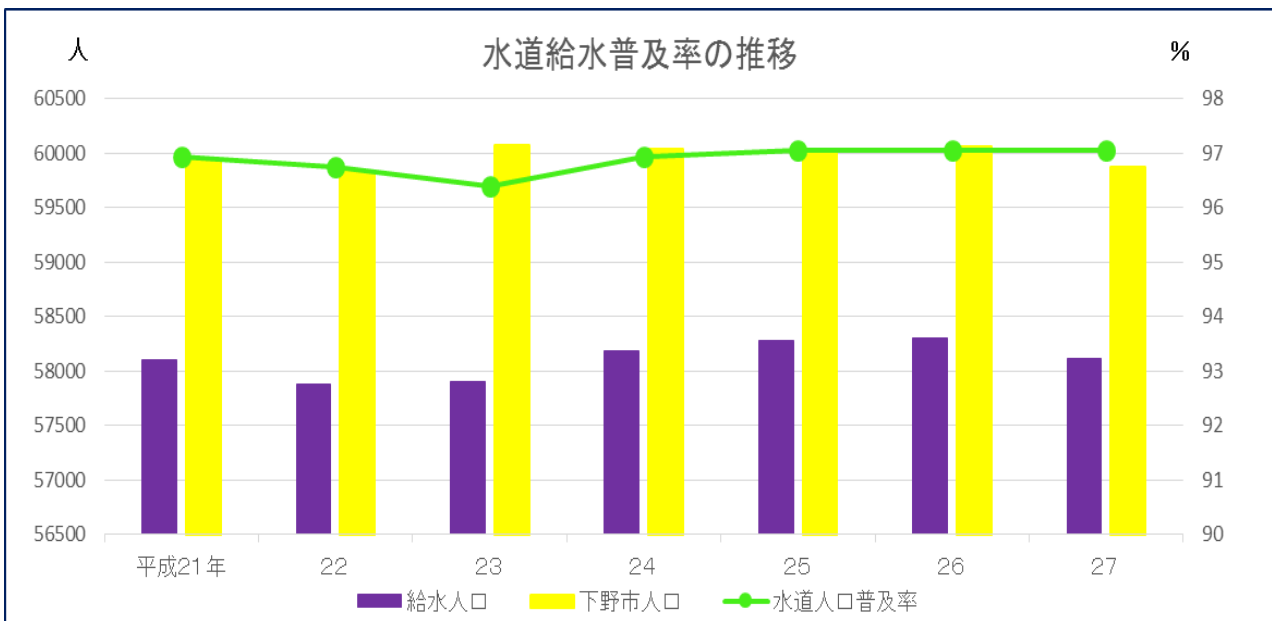
(1) 水道給水人口普及率

下野市の水道人口普及率の推移をみると、平成21年(96.9%)から平成27年(97.1%)まで普及率は、ほぼ横ばい状況にあります。

水道給水普及率の推移

単位：人

	平成21年	22	23	24	25	26	27
南河内地区(人)	19,036	19,018	19,027	19,121	19,149	19,158	19,041
石橋地区(人)	21,051	20,930	20,943	21,046	21,077	21,087	21,078
国分寺地区(人)	18,016	17,932	17,936	18,024	18,051	18,059	18,025
給水人口(人)	58,103	57,880	57,906	58,191	58,277	58,304	58,114
下野市人口(人)	59,937	59,823	60,073	60,034	60,039	60,066	59,870
人口普及率(%)	96.9	96.8	96.4	96.9	97.1	97.1	97.1



資料：市水道課

2 下水道

(1) 公共下水道利用者数

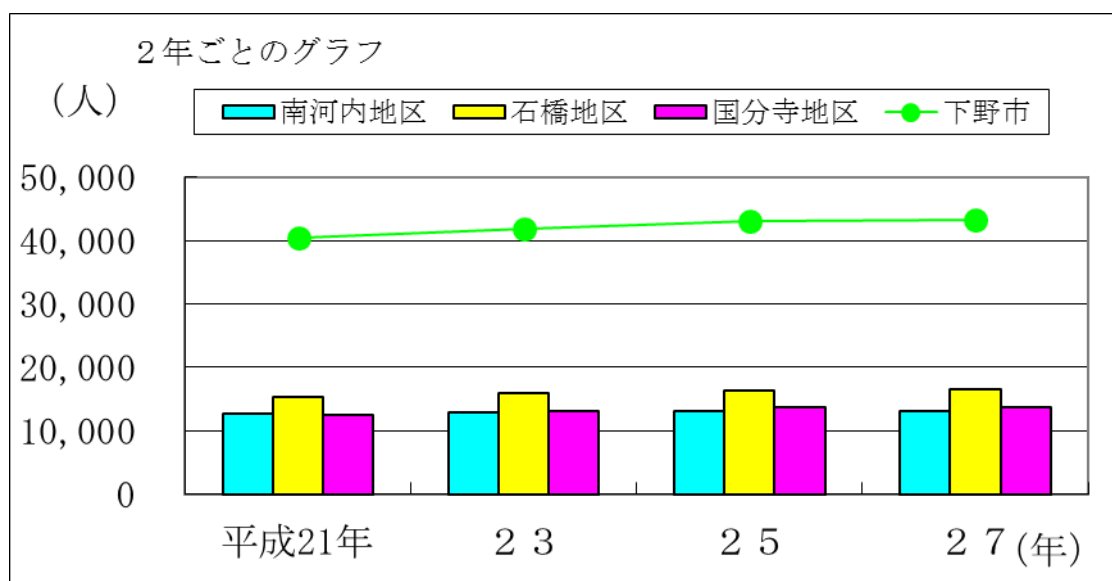
下野市の公共下水道利用者数の推移をみると、平成21年（40,413人）から平成27年（43,288人）までに2,875人増加している。

地区別にみると、平成21年から平成27年にかけて南河内地区では346人増加、石橋地区では1,185人増加、国分寺地区では1,344人増加している。

公共下水道利用者数の推移

単位：人

	平成21年	22	23	24	25	26	27
南河内地区	12,768	12,815	12,848	12,911	13,018	13,191	13,114
石橋地区	15,258	15,537	15,870	16,148	16,395	16,517	16,443
国分寺地区	12,387	12,737	13,145	13,383	13,624	13,922	13,731
下野市	40,413	41,089	41,863	42,442	43,037	43,630	43,288



※ 下野市の数値を3地区で比較するために作成

資料：市下水道課

参 考

市内の公共下水道供用開始区域

祇園・緑・医大前・烏ヶ森・薬師寺・仁良川・上大領・東前原・石橋・下石橋・大光寺・大松山・花の木・上古山・下古山・小金井・川中子・柴・駅東

(一部地域が対象区域の地区もあります)

(2) 農業集落排水施設利用者数

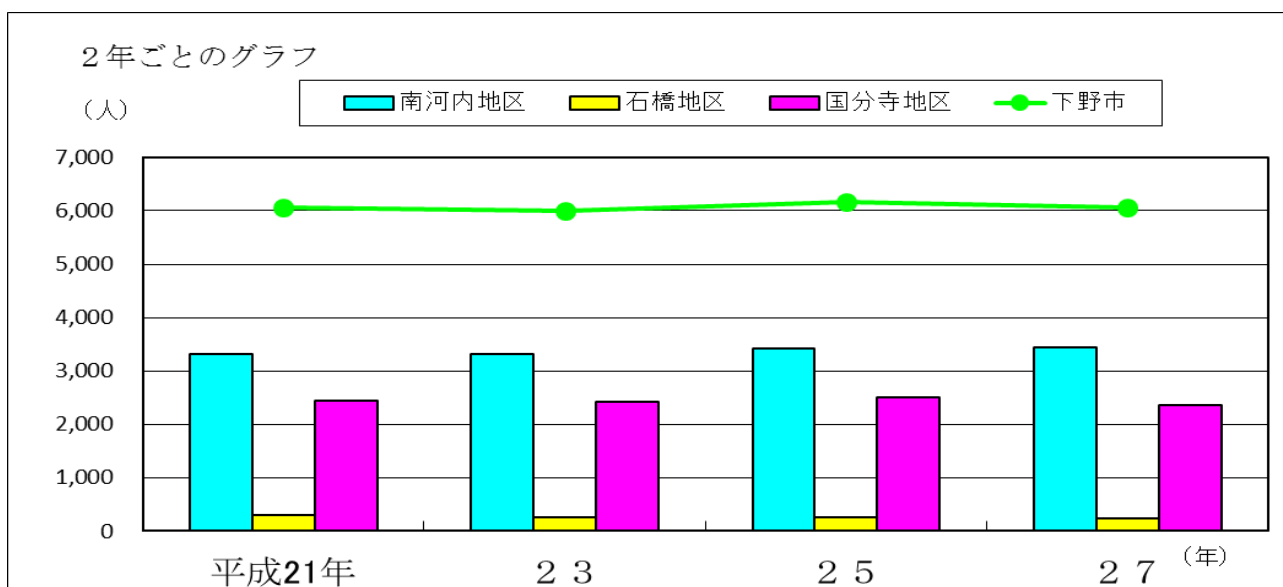
下野市の農業集落排水施設利用者数の推移をみると、平成21年(6,059人)から平成27年(6,052人)までに7人減少している。

地区別にみると、平成21年から平成27年にかけて南河内地区では124人増加、石橋地区では55人減少、国分寺地区では76人減少している。

農業集落排水施設利用者数の推移

単位：人

	平成21年	22	23	24	25	26	27
南河内地区	3,322	3,329	3,318	3,384	3,416	3,441	3,446
石橋地区	296	284	254	260	257	261	241
国分寺地区	2,441	2,484	2,421	2,471	2,500	2,513	2,365
下野市	6,059	6,097	5,993	6,155	6,173	6,215	6,052



※ 下野市の数値を3地区で比較するために作成

資料：市下水道課

参 考

市内の農業集落排水供用開始区域

吉田東地区	本吉田・別当河原・上川島・中川島・磯部・上吉田・三王山・谷地賀
吉田西地区	谷地賀・田中・下文狭・仁良川・東根・磯部・上坪山・下坪山
成田・町田地区	成田・町田
下坪山地区	絹板・花田・下坪山
上台地区	上台
柴南地区	柴
柴南東部地区	柴
姿川西部地区	国分寺・柴・箕輪・川中子

一部地域が対象区域の地区もあります

(3) 下水道普及率

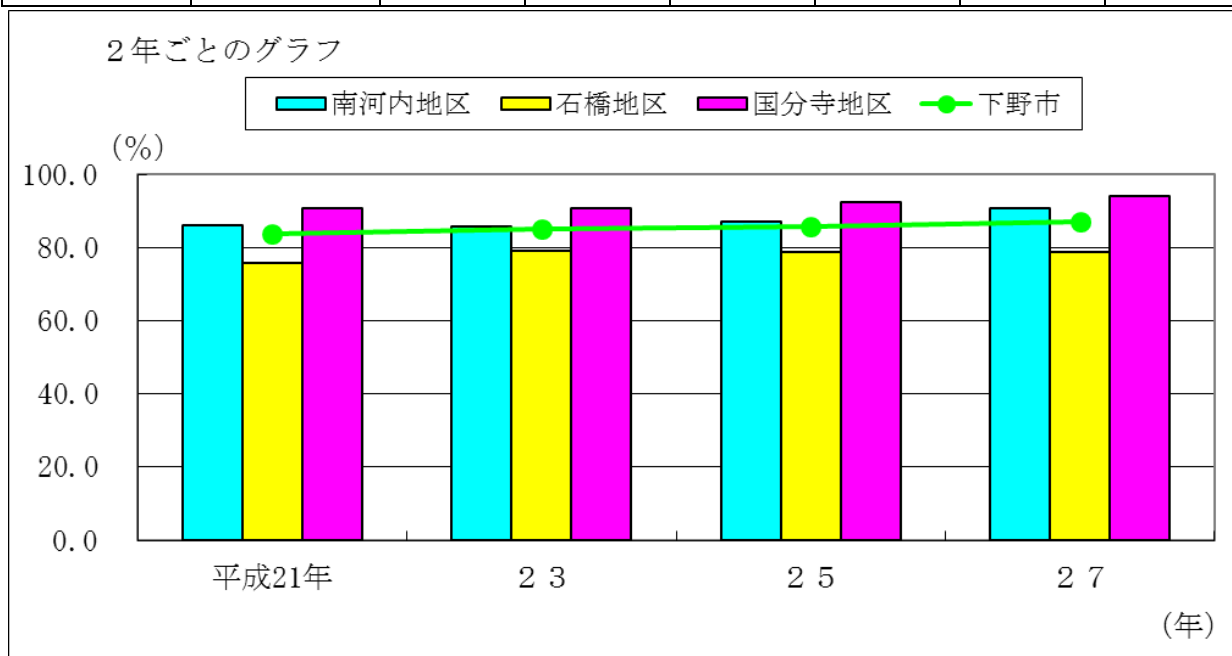
下野市の下水道普及率の推移をみると、平成21年(83.8%)から平成27年(87.2%)までに3.4%増加している。

地区別にみると、平成21年から平成27年にかけて南河内地区では4.6%増加、石橋地区では3.0%増加、国分寺地区では3.5%増加している。

下水道普及率の推移

単位：%

	平成21年	22	23	24	25	26	27
南河内地区	86.0	86.4	85.6	85.3	87.0	89.4	90.6
石橋地区	75.7	77.0	79.1	78.5	78.9	79.0	78.7
国分寺地区	90.6	91.4	90.9	91.0	92.4	94.2	94.1
下野市	83.8	82.5	85.0	84.7	85.8	87.2	87.2



※ 下野市の数値を3地区で比較するために作成

資料：市下水道課

※ この下水道普及率は公共下水道と農業集落の数値を合わせたもの

解説

公共下水道：主として市街地における下水を排除し、又は処理するために地方公共団体が管理する下水道で、終末処理場を有するもの又は流域下水道に接続するものであり、かつ、汚水を排除すべき排水施設の相当部分が暗渠である構造のもの（複数の市町村区域にまたがる場合は流域下水道という）

農業集落排水：農業用排水の水質保全と農村環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与することを目的として、農業集落における汚水を処理するための処理施設を有するもの

VI 建設

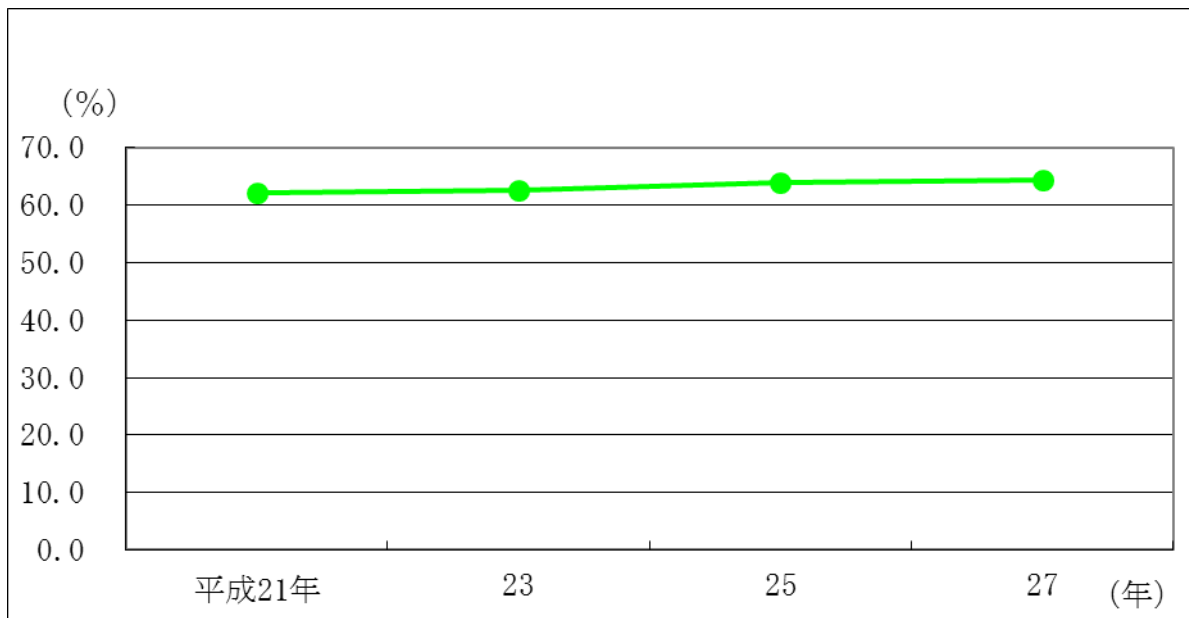
(1) 道路改良率

下野市の道路改良普及率の推移をみると、平成21年(62.2%)から平成27年(64.0%)までに1.8%増加している。

道路改良率の推移

単位：%

	平成21年	22	23	24	25	26	27
下野市	62.2	62.4	62.7	63.7	63.7	64.0	64.0



資料：市建設課、栃木県道路保全課
(道路現況調書より)

参考

道路改良率

単位：%

宇都宮市	80.5	日光市	55.2	那須塩原市	64.1
足利市	60.1	小山市	71.0	さくら市	83.6
栃木市	63.0	真岡市	72.7	那須烏山市	78.2
佐野市	64.6	大田原市	74.1		
鹿沼市	52.8	矢板市	73.0		

平成27年4月1日現在

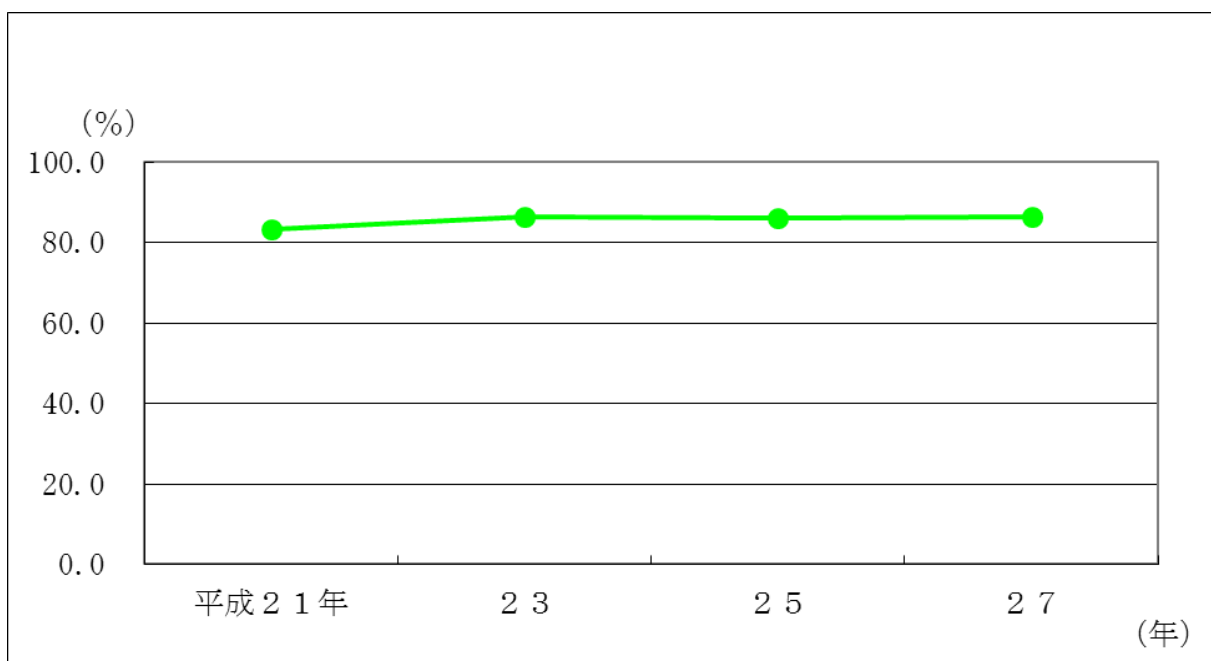
(2) 道路舗装率

下野市の道路舗装率の推移をみると、平成21年（83.3%）から平成27年（86.3%）までに3.0%増加している。

道路舗装率の推移

単位：%

	平成21年	22	23	24	25	26	27
下野市	83.3	83.3	83.5	86.0	86.2	86.3	86.3



資料：市建設課、栃木県道路保全課
(道路現況調書より)

参 考

道路舗装率

単位：%

宇都宮市	95.7	日光市	67.9	那須塩原市	74.3
足利市	85.9	小山市	92.0	さくら市	81.5
栃木市	80.4	真岡市	96.3	那須烏山市	86.5
佐野市	77.8	大田原市	90.7		
鹿沼市	70.5	矢板市	84.6		

平成27年4月1日現在

VII 衛生・環境

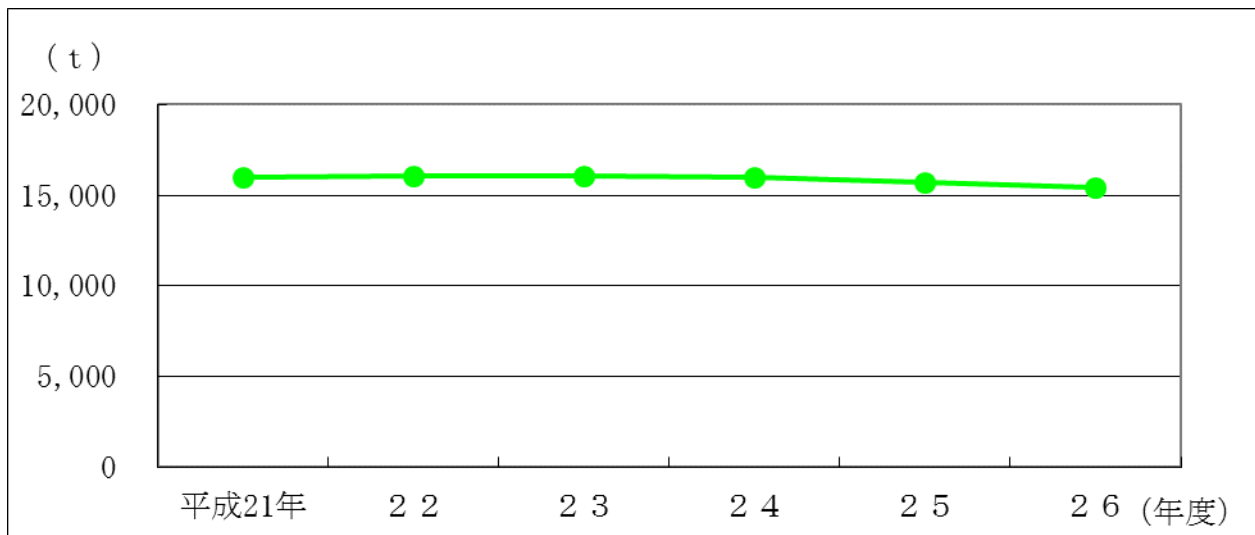
(1) ごみ総排出量

下野市のごみの総排出量の推移をみると、平成21年度（15,975 t）から平成26年度（15,443 t）までに532 t減少している。

ごみの総排出量

単位：t

	平成21年度	22	23	24	25	26
下野市	15,975	16,031	16,032	15,963	15,689	15,443



資料：市環境課

※ ごみの総排出量は一般ごみと資源ごみの合計を換算する。

参 考

平成26年度ごみの総排出量

単位：t

宇都宮市	184,251	日光市	38,050	那須塩原市	45,020
足利市	60,646	小山市	55,932	さくら市	12,712
栃木市	54,494	真岡市	34,001	那須烏山市	8,259
佐野市	40,874	大田原市	23,243		
鹿沼市	33,400	矢板市	10,430		

市収集・直接搬入・集団回収の合計

※資料：平成26年度版とちぎの廃棄物

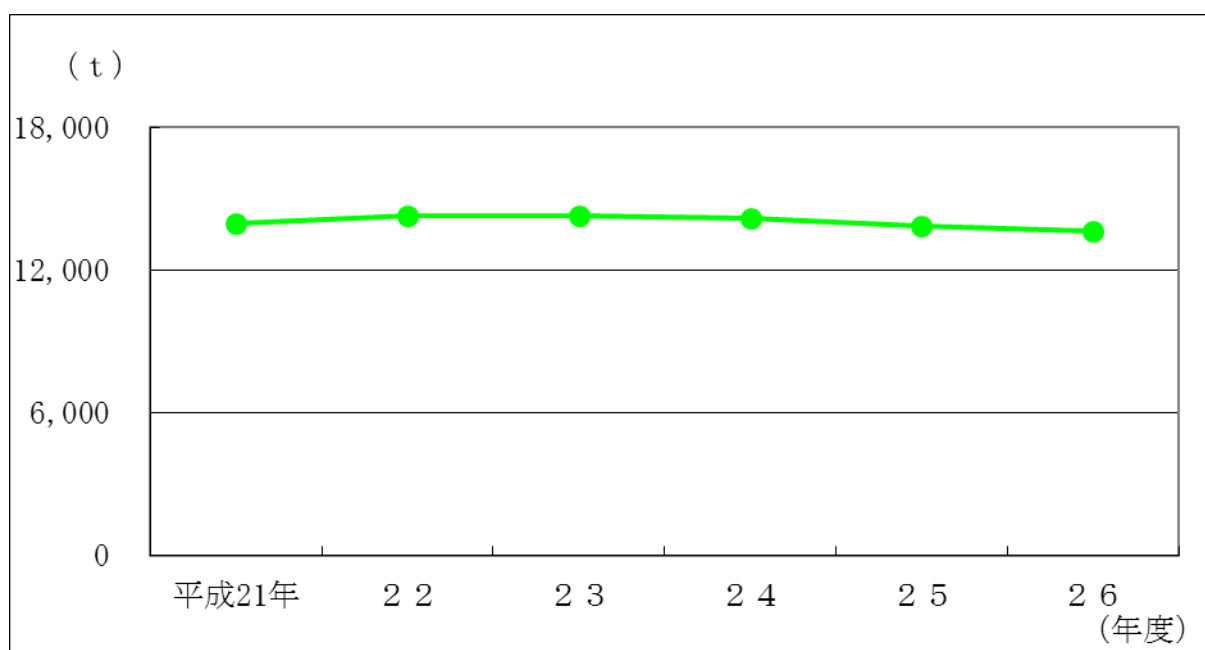
(2) 一般ごみの排出量

下野市の一般ごみの排出量の推移をみると、平成21年度（13,169 t）から平成26年度（13,343 t）までに174 t減少している。

一般ごみの排出量の推移

単位：t

	平成21年度	22	23	24	25	26
下野市	13,169	13,312	13,430	13,648	13,454	13,343



資料：市環境課

参 考

平成26年度一般ごみ収集量

単位：t

宇都宮市	104,268	日光市	21,471	那須塩原市	22,767
足利市	33,879	小山市	37,519	さくら市	8,757
栃木市	34,766	真岡市	14,214	那須烏山市	6,121
佐野市	23,984	大田原市	14,690		
鹿沼市	20,300	矢板市	6,573		

※資料：平成26年度版とちぎの廃棄物

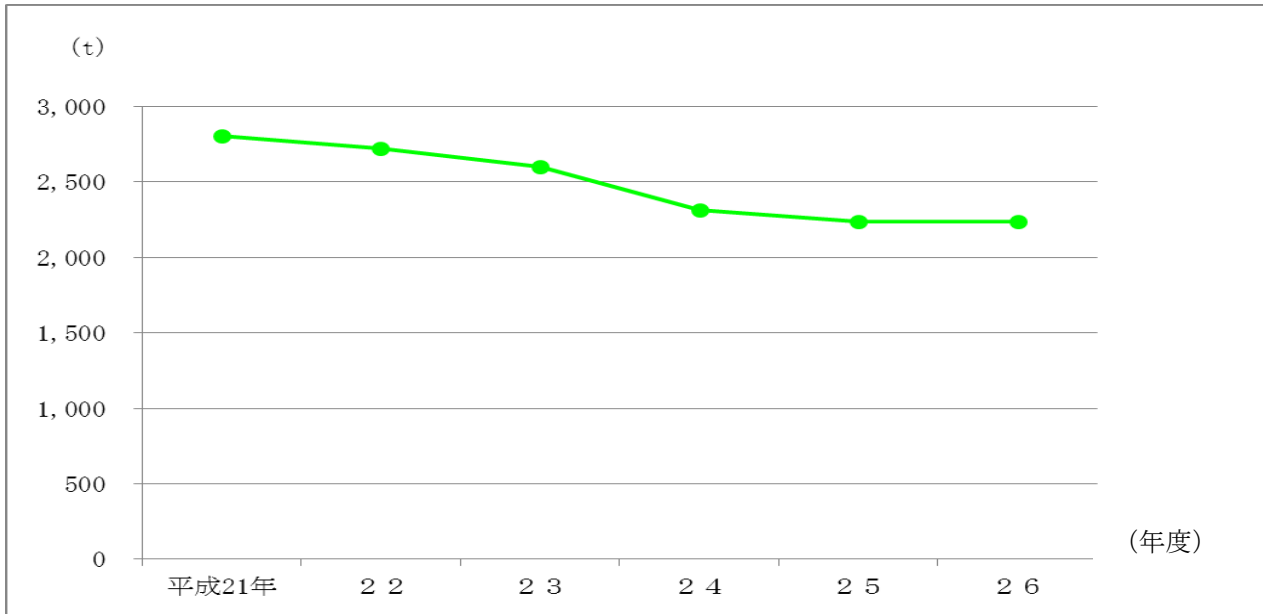
(3) 資源ごみの排出量

下野市の資源ごみの排出量の推移をみると、平成21年(2,806 t)から平成26年(2,238 t)までに568 t減少している。

資源ごみの排出量の推移

単位：t

	平成21年度	22	23	24	25	26
下野市	2,806	2,719	2,602	2,315	2,235	2,238



資料：市環境課

解説

資源ごみ

南河内地区	缶・びん・ペットボトル・新聞紙・ダンボール・牛乳パック
国分寺地区	雑誌・衣類・古布
石橋地区	缶・びん・ペットボトル・新聞紙・チラシ・ダンボール・紙パック 雑誌・雑紙・衣類・古布

平成26年度資源ごみ収集量

単位：t

宇都宮市	23,358	日光市	3,957	那須塩原市	5,167
足利市	3,957	小山市	4,085	さくら市	831
栃木市	5,335	真岡市	3,050	那須烏山市	732
佐野市	2,326	大田原市	2,980		
鹿沼市	3,693	矢板市	812		

※資料：平成26年度版とちぎの廃棄物

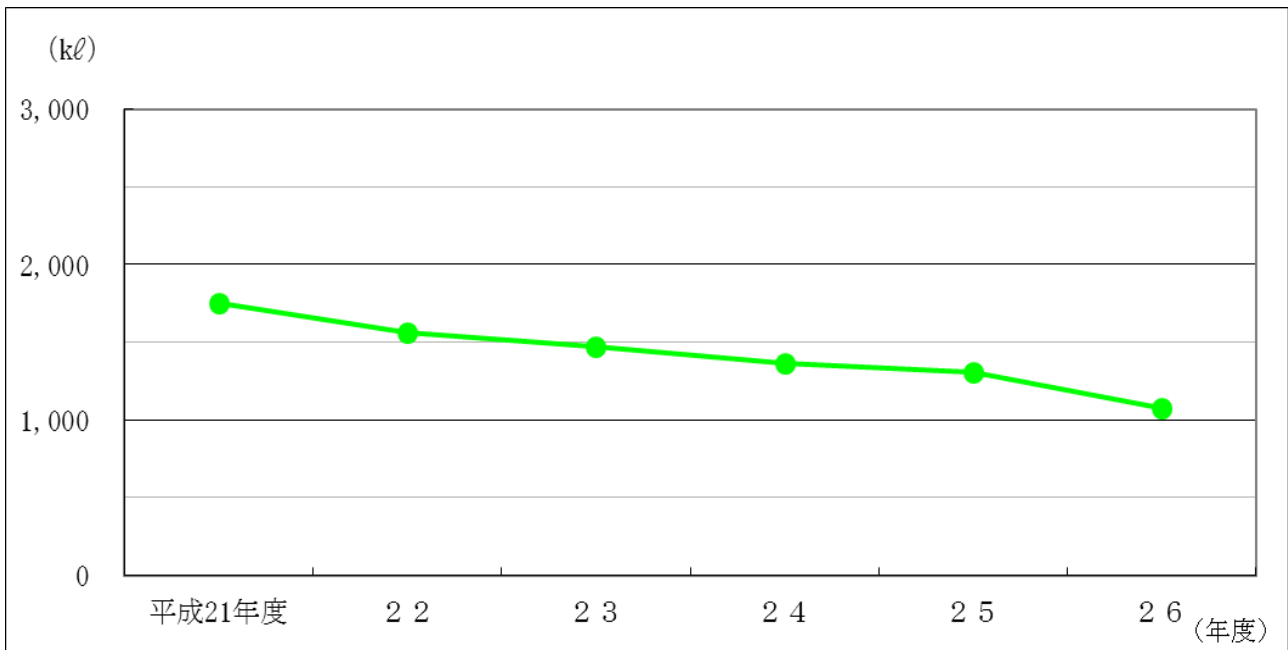
(4) し尿収集量

下野市のし尿収集量の推移をみると、平成21年度（1,753 kℓ）から平成26年度（1,080 kℓ）までに673 kℓ減少している。

し尿収集量の推移

単位：kℓ

	平成21年度	22	23	24	25	26
下野市	1,753	1,564	1,468	1,365	1,307	1,080



資料：市環境課

参考

平成26年度し尿収集量

単位：kℓ

宇都宮市	7,577	日光市	4,283	那須塩原市	7,976
足利市	6,114	小山市	6,488	さくら市	1,359
栃木市	5,975	真岡市	2,446	那須烏山市	1,645
佐野市	9,748	大田原市	3,472		
鹿沼市	3,999	矢板市	1,881		

※資料：平成26年度版とちぎの廃棄物

VIII 幼稚園・認定こども園・保育園

(1) 幼稚園・認定こども園

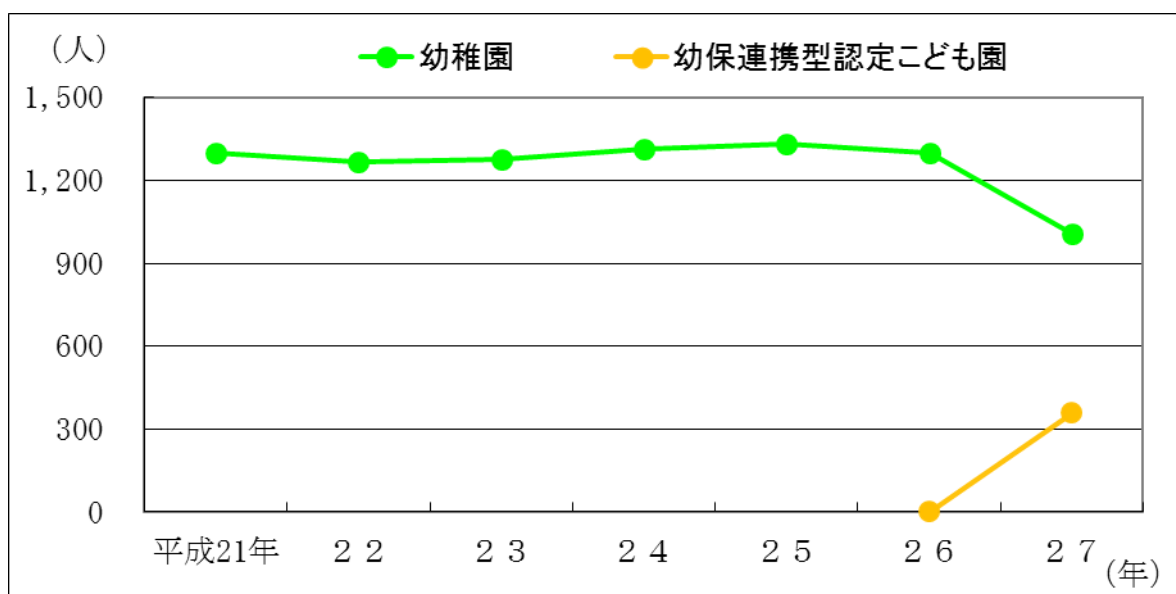
平成26年までは幼稚園7園(61学級)だったが、平成27年に子ども・子育て支援新制度へ移行したことに伴い、幼稚園5園(45学級)、幼保連携型認定こども園2園(15学級)となっている。

園児数の推移をみると、平成21年(1,299人)から平成27年(1,367人)までに68人増加している。

幼稚園と認定こども園の学級数・園児数の推移

単位：学級・人

	幼稚園		幼保連携型 認定こども園		合計	
	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数
平成21年	64	1,299	-	-	64	1,299
22	61	1,266	-	-	61	1,266
23	63	1,277	-	-	63	1,277
24	66	1,311	-	-	66	1,311
25	62	1,311	-	-	62	1,311
26	61	1,301	-	-	61	1,301
27	45	1,008	15	359	60	1,367



資料：学校基本調査(各年5月1日現在)

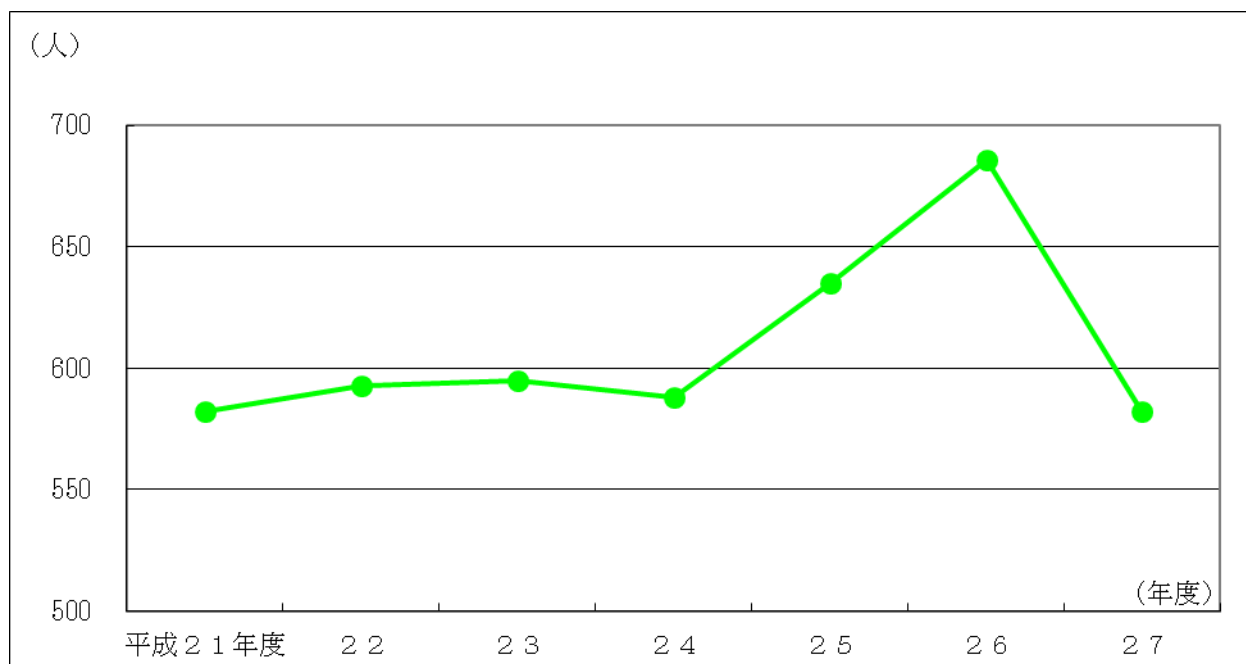
(2) 保育園

子ども子育て支援新制度移行に伴い、平成27年度に保育園から幼保連携型認定こども園へ2園移行している。

保育園数・園児数の推移

単位：園・人

	施設数	在所児数
平成21年度	8	582
22	8	593
23	9	595
24	9	588
25	10	635
26	10	686
27	8	582



資料：市子ども福祉課（各年4月1日現在）

IX 教 育

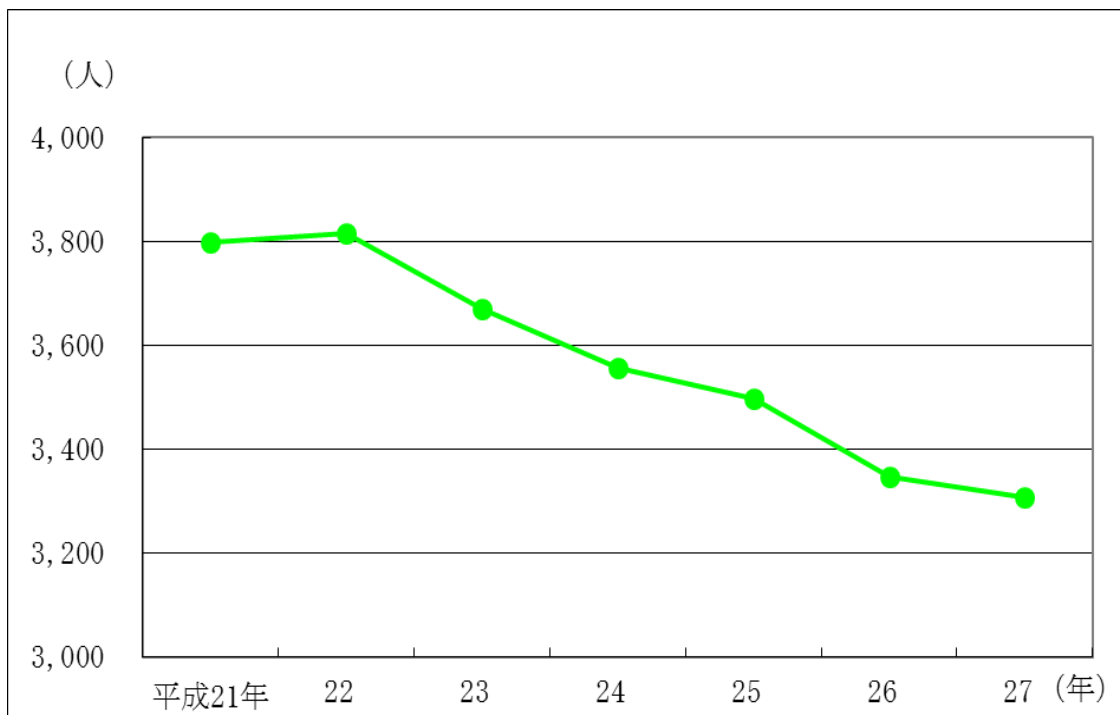
(1) 小学校

下野市内の学校数は12校であり、南河内地区で5校、石橋地区で4校、国分寺地区で3校となっている。学級数・児童数の推移をみると、平成21年(3,798人)から平成27年(3,307人)では491人減少している。

小学校学級数・児童数の推移

単位:学級・人

	下野市	
	学級数	児童数
平成21年	146	3,798
22	148	3,817
23	151	3,671
24	151	3,557
25	146	3,498
26	142	3,347
27	143	3,307



資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

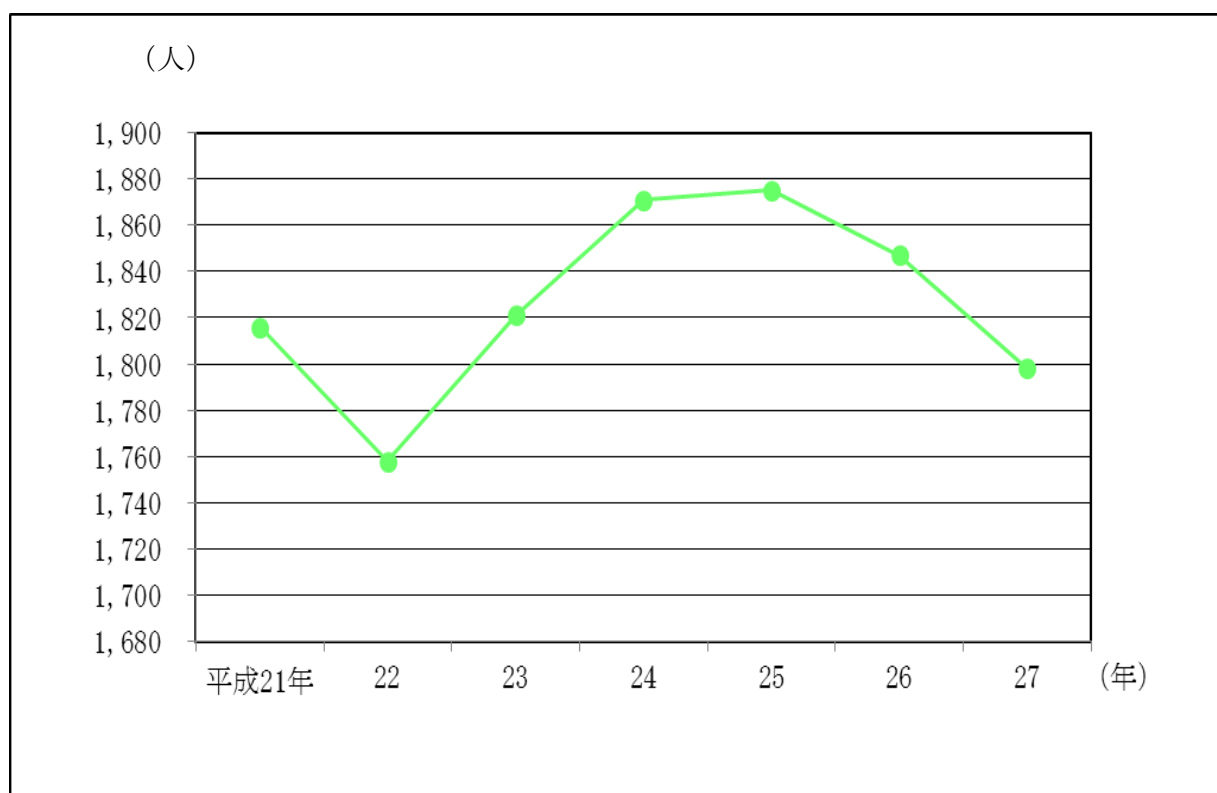
(2) 中学校

下野市内の学校数は4校であり、南河内地区で2校、石橋地区で1校、国分寺地区で1校となっている。学級数・生徒数の推移をみると、平成21年(1,816人)から平成27年(1,798人)では18人減少している。

中学校学級数・生徒数の推移

単位：学級・人

	下野市	
	学級数	生徒数
平成21年	63	1,816
22	63	1,758
23	67	1,821
24	68	1,871
25	69	1,875
26	67	1,847
27	65	1,798



資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

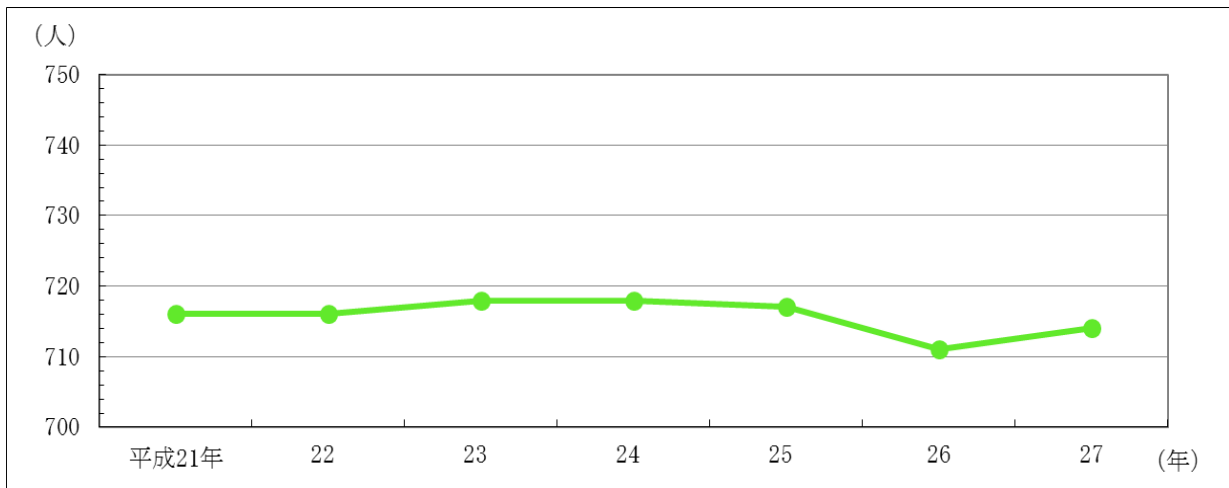
(3) 高等学校

下野市の学校数は1校であり、石橋地区となる。平成21年から平成27年にかけて生徒数の推移をみると、5人減少となる。

高校学級数・生徒数の推移

単位：学級・人

	下野市（石橋地区）	
	学級数	生徒数
平成21年	18	719
22	18	716
23	18	716
24	18	718
25	18	717
26	18	711
27	18	714



資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

参 考

平成27年度進路別卒業生数

単位：人

	中学校			高等学校		
	総数	男	女	総数	男	女
卒業生総数	630	310	320	232	148	84
高等学校等進学者	625	306	319	-	-	-
大学等進学者	-	-	-	212	130	82
専修学校進学者	-	-	-	15	14	1
公共職業能力開発施設等進学者	-	-	-	-	-	-
就職者	1	1	-	-	-	-
その他	4	3	1	5	4	1

資料：学校基本調査

(4) 大学・大学院

下野市の大学・大学院数は自治医科大学1校であり、南河内地区となる。

医学部の学生数

単位：人

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
男	79	82	87	84	95	73	500
女	46	42	33	47	36	32	236
合計	125	124	120	131	131	105	736

看護学部の学生数

単位：人

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
男	4	4	6	5	19
女	101	101	98	99	99
合計	105	105	104	104	418

大学院の専攻別学生数

単位：人

		1年生	2年生	3年生	4年生	合計
医科学専攻	男	5	4			9
	女	3	6			9
	合計	8	10			18
環境生態学系専攻	男	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	1	1
	合計	1	0	0	1	2
地域医療学系専攻	男	18	21	18	12	69
	女	7	7	7	2	23
	合計	25	28	25	14	92
人間生物学系専攻	男	7	3	2	12	16
	女	1	2	1	3	7
	合計	8	5	3	7	23
看護学専攻	男	1	0	0		1
	女	1	3	3		7
	合計	2	3	3		8

資料：自治医科大学ホームページ（平成28年5月1日現在）

X 安全安心

(1) 火災

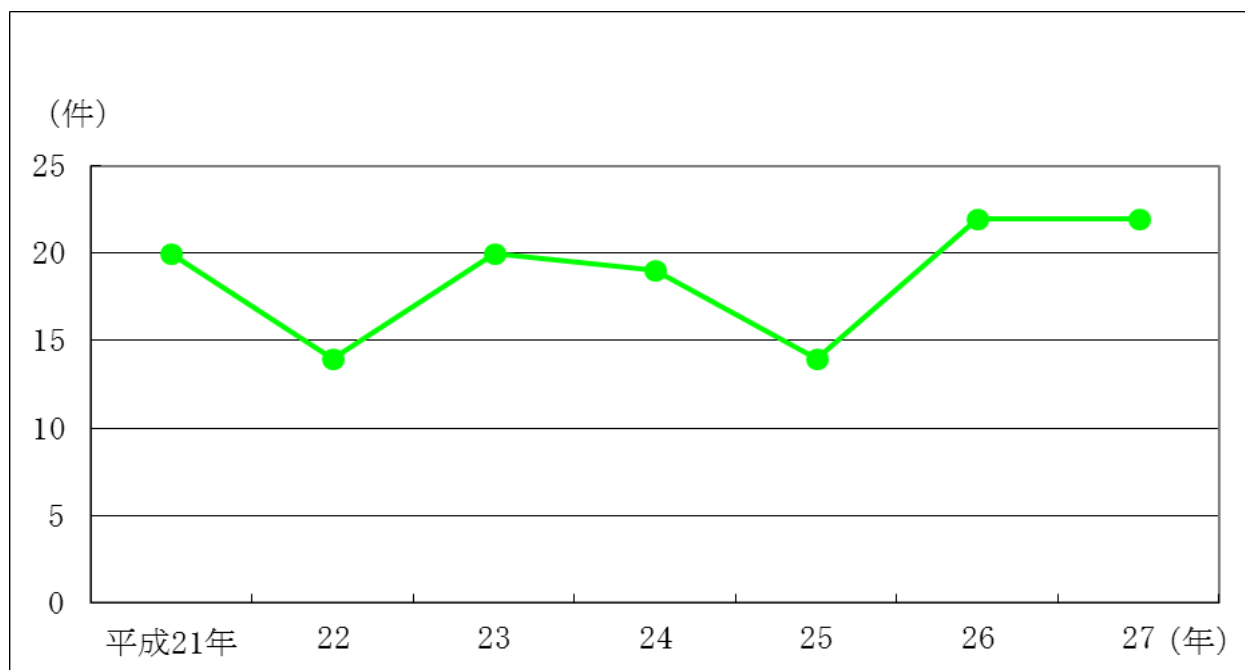
下野市の火災件数の推移をみると、平成21年（20件）の火災発生状況より平成27（22件）は2件増加している。

火災件数の推移

単位:件

	平成21年	22	23	24	25	26	27
下野市	20	14	20	19	14	22	22

資料:石橋地区消防本部石橋消防署



(2) 交通事故件数

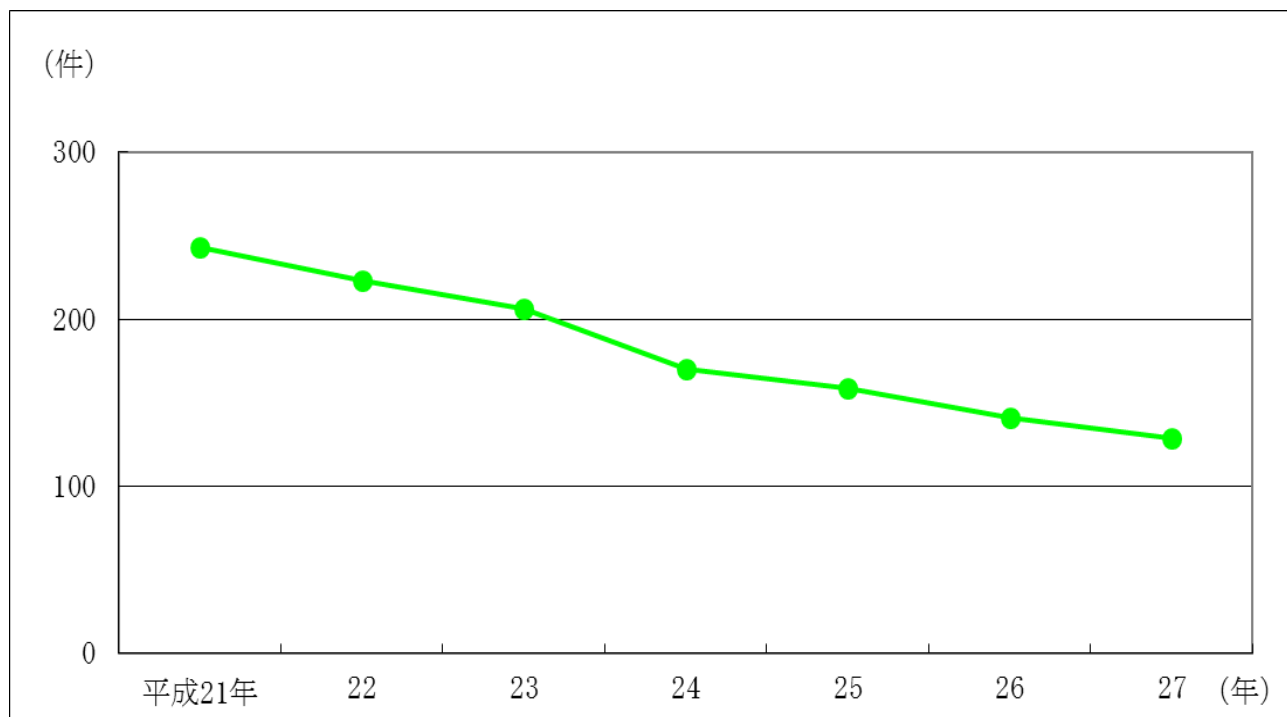
下野市の交通事故件数をみると、平成21年（243件）の事故発生状況より平成27年（129件）は114件減少している。

交通事故件数の推移

単位:件

	平成21年	22	23	24	25	26	27
下野市	243	223	206	170	159	141	129

資料：下野警察署



(3) 交通事故死傷者数

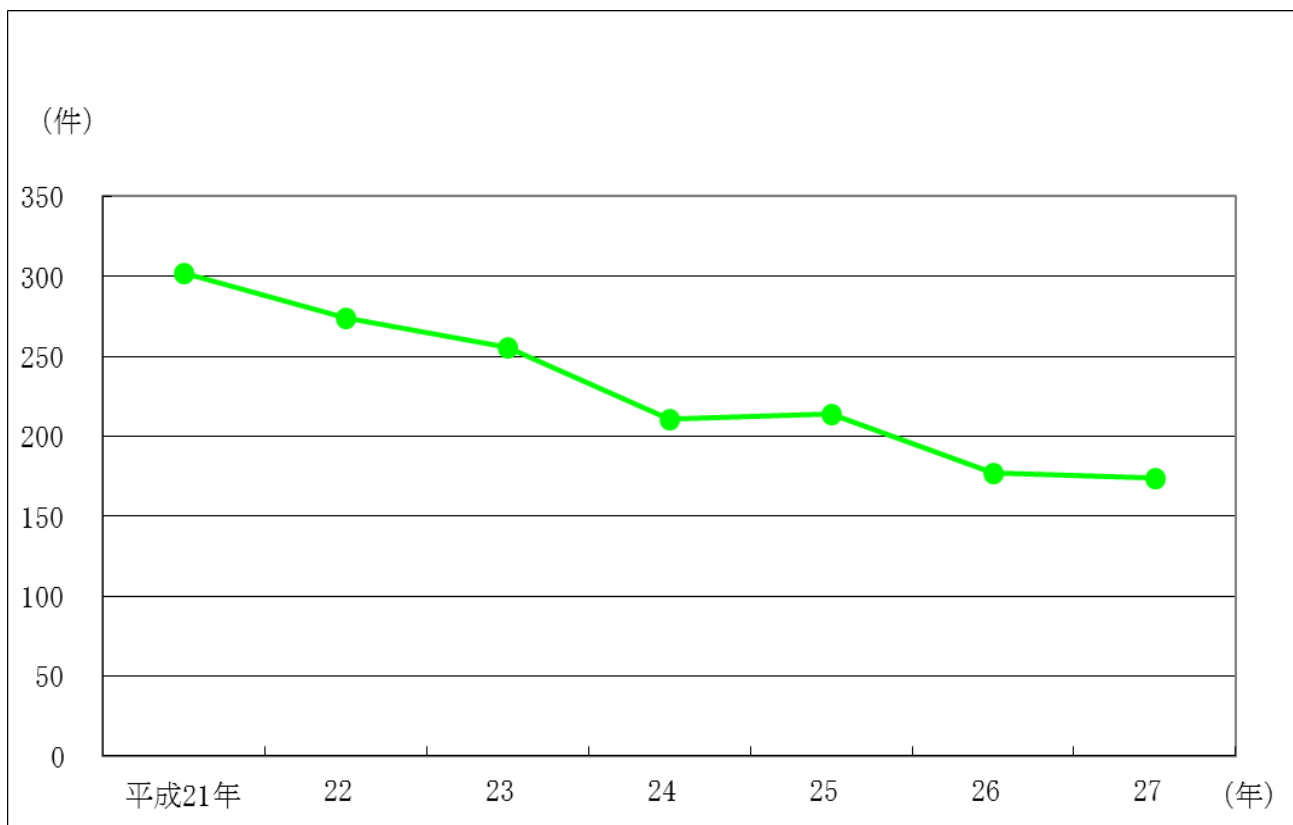
下野市の交通事故死傷者数をみると、平成21年(302件)より平成27年(174件)では128件減少している。

交通事故死傷者数の推移

単位：件

	平成21年	22	23	24	25	26	27
下野市	302	274	256	211	214	177	174

資料：下野警察署



(4) 刑法犯認知件数

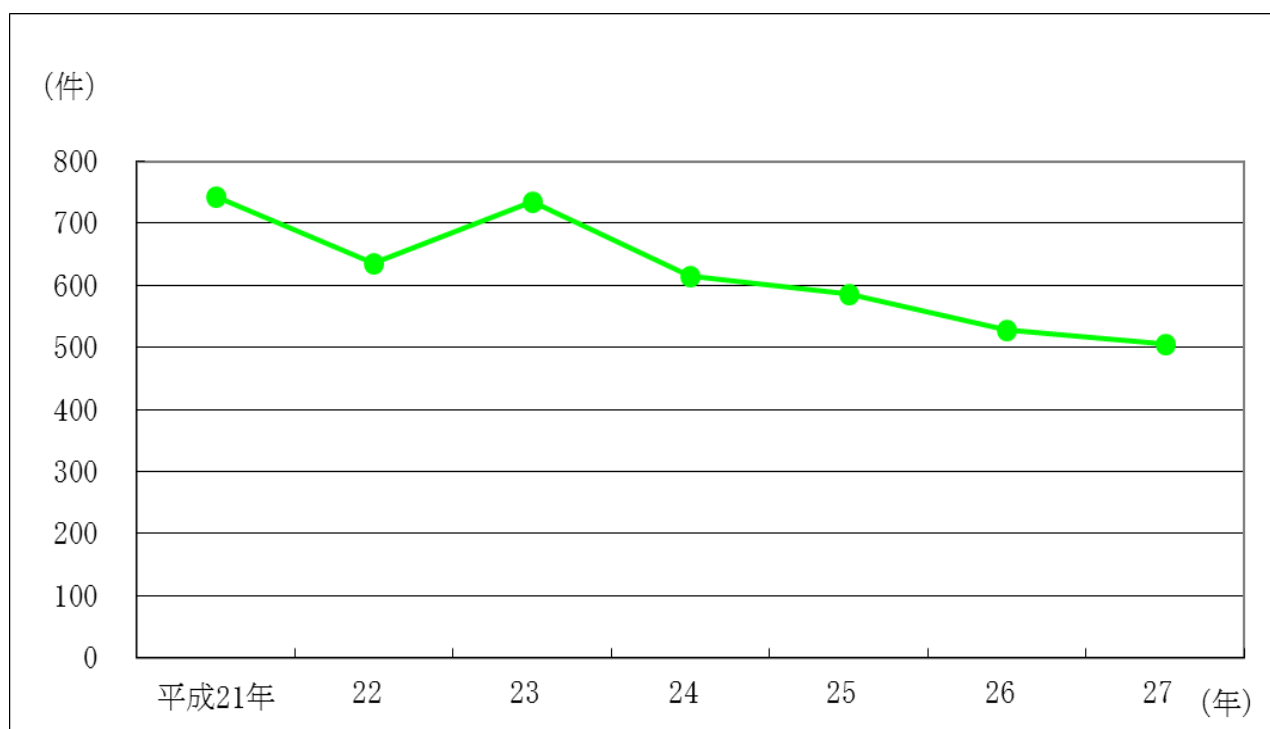
下野市の刑法犯認知件数推移をみると、平成21年（744件）の事件発生状況より平成27年（506件）は238件減少している。

刑法犯認知件数の推移

単位:件

	平成21年	22	23	24	25	26	27
下野市	744	636	735	616	587	529	506

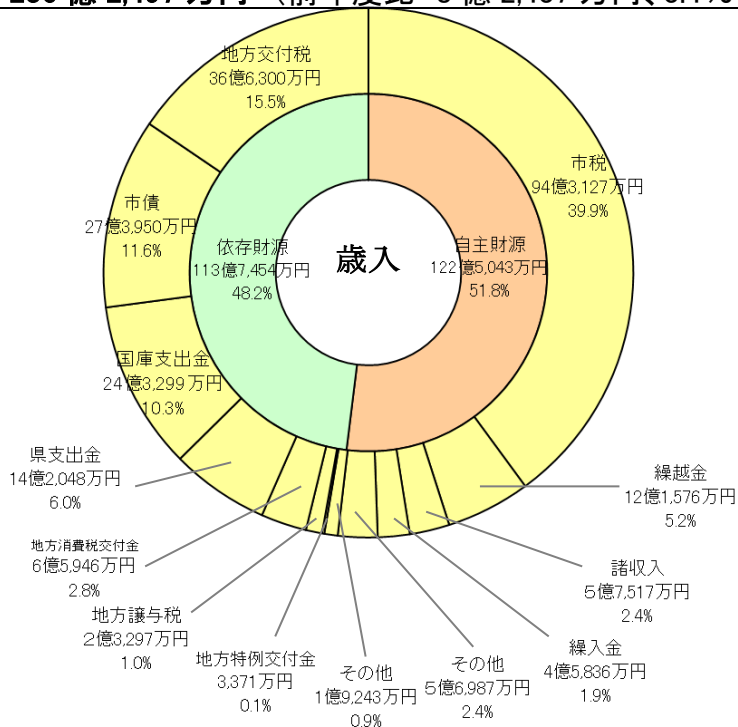
資料:下野警察署



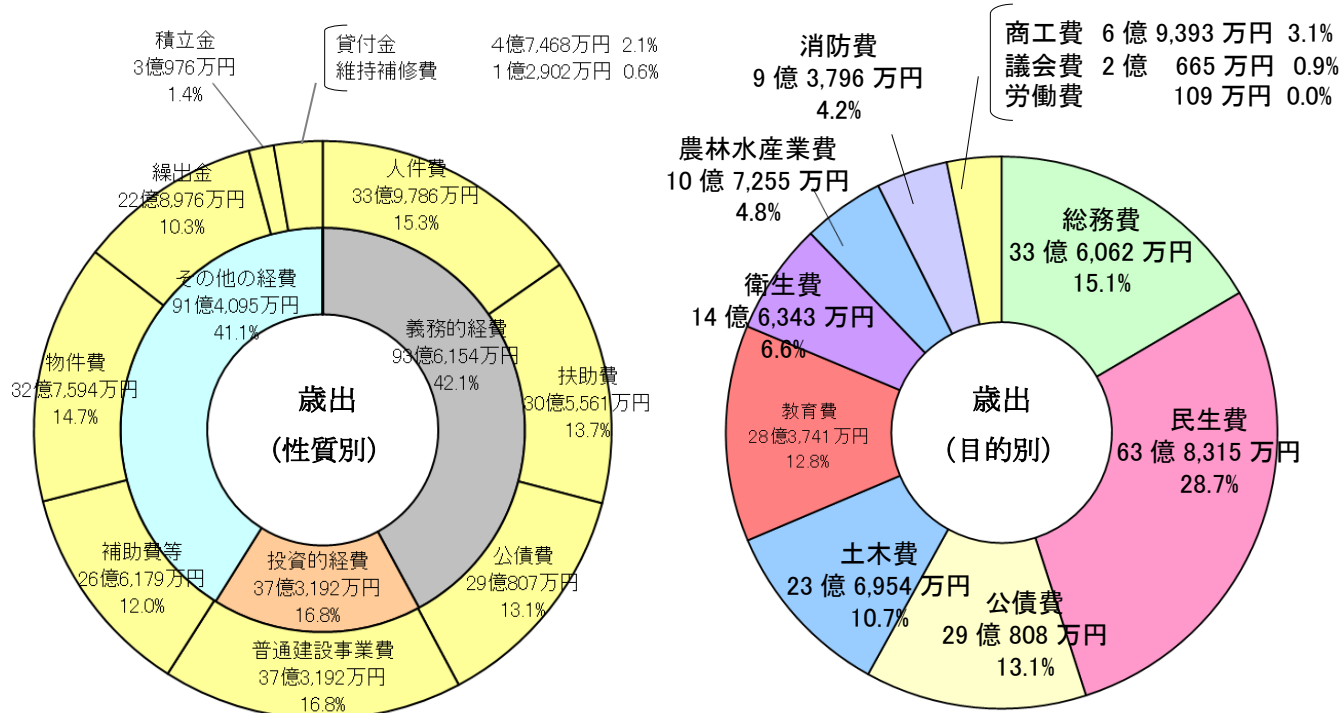
XI 財政

平成26年度一般会計決算額

歳入総額 236 億 2,497 万円（前年度比 8 億 2,437 万円、3.4%の減）



歳出総額 222 億 3,441 万円（前年度比 9 億 9,917 万円、4.3%の減）



市税の負担状況

	1人あたり	1世帯あたり
市税全体	156,920 円	417,671 円
市民税	73,428 円	195,442 円
固定資産税	66,743 円	177,647 円
軽自動車税	1,564 円	4,164 円
たばこ税	7,232 円	19,249 円
都市計画税	7,953 円	21,169 円

皆様から納めていただいた税金を税目ごとに住民基本台帳人口、世帯数で割っています。

◆ 住民基本台帳 ◆
(平成 27 年 3 月 31 日現在)
人 口 60,066 人
世帯数 22,567 世帯

下野市の財政を家計簿にととえると・・・

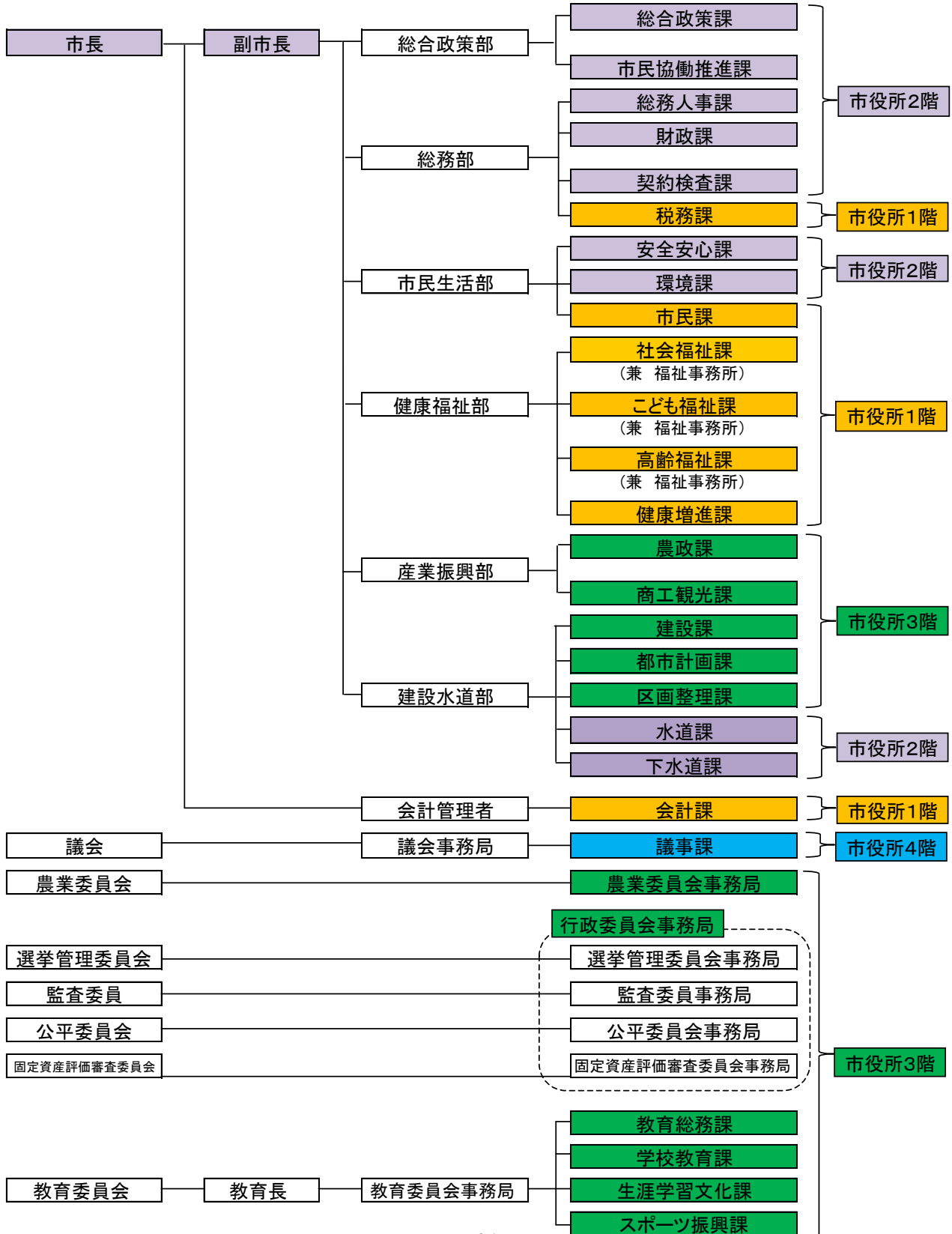
下野市の決算状況について身近に感じてもらうため、平成 26 年度一般会計決算を年収 600 万円の家計にととえ「1 年間の家計簿」を作成しました。なお、市と一般家庭では会計方法等が異なるため、単純な比較とはなりませんのでご了承ください。

[収入]				[支出]				
項 目	金 額	割合	決算上の区分	項 目	金 額	割合	決算上の区分	
① 給与収入	基本給	240 万円	40%	市税	① 食費	86 万円	15%	人件費
	諸手当	121 万円	20%	地方交付税 譲与税 など	② 家族の医療費	77 万円	14%	扶助費
② パート収入	29 万円	5%	使用料及び手数料 財産収入 諸収入 など	③ 日用品の購入や 光熱水費など	87 万円	15%	物件費 維持補修費	
③ 親からの援助	98 万円	16%	国県支出金	④ 仕送り	58 万円	10%	繰出金	
④ 預金取り崩し	11 万円	2%	繰入金	⑤ 自治会費や保険料	68 万円	12%	補助費	
⑤ ローン	70 万円	12%	市債	⑥ ローンの返済	74 万円	13%	公債費	
⑥ 前年からの繰越金	31 万円	5%	繰越金	⑦ 株などへの投資	12 万円	2%	貸付金	
				⑧ 自家用車の購入や 家の増改築など	95 万円	17%	普通建設事業 費、災害復旧 費 など	
収入合計	600 万円			⑨ 貯金	8 万円	2%	積立金	
				支出合計	565 万円			

↑ 收支の差額 35 万円は翌年へ繰越となります。

XII 行政

組織機構図（平成 28 年 5 月 6 日現在）



選挙人名簿登録者数(平成28年9月2日現在)

投票区別(在外選挙人を除く)

投票区	投票所名	男	女	計	前	回	増	減
					男	女	計	計
第1投票区	薬師寺小学校体育館	1,179	1,208	2,387	1	-1	0	
第2投票区	南河内公民館	1,002	1,074	2,076	14	20	34	
第3投票区	祇園小学校体育館	1,531	1,576	3,107	-17	47	30	
第4投票区	南河内東公民館	730	750	1,480	1	-3	-2	
第5投票区	吉田西小学校体育館	625	593	1,218	-1	-3	-4	
第6投票区	南河内第二中学校ミーティングルーム	1,129	1,271	2,400	-28	-27	-55	
第7投票区	グリーンタウンコミュニティセンター	762	764	1,526	-15	-14	-29	
第8投票区	緑小学校体育館	1,341	1,289	2,630	-15	-12	-27	
第9投票区	石橋庁舎(駐車場内プレハブ室)	1,576	1,602	3,178	-4	2	-2	
第10投票区	石橋小学校多目的室(給食室隣り)	1,409	1,446	2,855	-4	-1	-5	
第11投票区	古山小学校体育館	1,569	1,588	3,157	-24	1	-23	
第12投票区	児山館	542	606	1,148	14	16	30	
第13投票区	石橋北小学校(プレイルーム)	1,574	1,509	3,083	-21	-26	-47	
第14投票区	細谷小学校(西校舎会議室)	358	364	722	2	3	5	
第15投票区	石橋商工会館	1,593	1,645	3,238	-9	-10	-19	
第16投票区	国分寺駅西児童館	1,332	1,391	2,723	-11	-4	-15	
第17投票区	国分寺小学校体育館	1,069	1,088	2,157	-4	-6	-10	
第18投票区	国分寺公民館	1,501	1,528	3,029	-4	8	4	
第19投票区	国分寺西小学校体育館	512	492	1,004	0	-1	-1	
第20投票区	子ども通園センター「けやき」(国分寺図書館隣り)	904	940	1,844	0	2	2	
第21投票区	コミュニティセンター友愛館	1,791	1,804	3,595	6	-8	-2	
第22投票区	医大前コミュニティセンター(古館公園内)	472	545	1,017	-2	4	2	
合 計		24,501	25,073	49,574	-121	-13	-134	

※前回は平成28年6月21日

衆議院小選挙区別(在外選挙人を除く)

第1区	旧南河内町(第1～8投票区)	8,299	8,525	16,824	-60	7	-53
第4区	旧石橋町(第9～15投票区)	8,621	8,760	17,381	-46	-15	-61
	旧国分寺町(第16～22投票区)	7,581	7,788	15,369	-15	-5	-20
	第4区計(第9～22投票区)	16,202	16,548	32,750	-61	-20	-81

※前回は平成28年6月21日

在外選挙人名簿登録者数

第1区	旧南河内町	7	9	16	0	2	2
第4区	旧石橋町	2	4	6	-1	-1	-2
	旧国分寺町	4	6	10	-1	0	-1
	第4区計	6	10	16	-2	-1	-3
合 計		13	19	32	-2	1	-1

※前回は平成28年6月21日